

京都精華大学 大学院

2024年度 入学試験要項

博士前期課程・修士課程入試

芸術研究科／マンガ研究科／デザイン研究科／人文学研究科

博士後期課程入試

芸術研究科／マンガ研究科



KYOTO SEIKA
UNIVERSITY
GRADUATE
SCHOOL
ADMISSION
2024

目次

博士前期課程・修士課程

博士前期課程・修士課程	1
募集人員	2
出願資格	2
入試日程	4
一次審査	5
提出課題（一次審査）	6
二次審査	8
出願書類（二次審査）	10
指導教員一覧	12
英語による指導を希望する方へ	14
教育の3つの方針	15

博士後期課程

博士後期課程	19
募集人員	20
出願資格	20
試験	21
出願書類	23
事前面談	25
指導教員一覧	26
教育の3つの方針	27

共通事項

共通事項	29
受験上の注意	30
インターネット出願手順	32
出願方法	34
入学検定料の支払方法	35
出願書類の送付	36
受験票の印刷	36
試験会場	37
合否発表	37
入学手続・学費	38
国内学生を対象とした本学独自の奨学金	41
外国人留学生を対象とした本学独自の奨学金	42
国費外国人留学生の受入れ	43
個別の入学資格審査	44
お問合せ	45

博士前期課程・修士課程

芸術研究科

マンガ研究科

デザイン研究科

人文学研究科

募集人員

研究科	専攻	領域		1 期	2 期	合計
芸術研究科	芸術専攻	実技系	洋画	14 名	6 名	20 名
			日本画			
			立体造形			
			陶芸			
			染織			
			版画			
			映像			
		理論系	芸術理論			
マンガ研究科	マンガ専攻	実技系	マンガ実技	14 名	6 名	20 名
		理論系	マンガ理論			
デザイン研究科	デザイン専攻	実技系	ビジュアルデザイン イラスト グラフィックデザイン デジタルクリエイション	5 名	5 名	10 名
			プロダクトデザイン			
		理論系	デザイン理論			
	建築専攻	実技系	建築	3 名	2 名	5 名
人文学研究科	人文学専攻	理論系	人文学	5 名	5 名	10 名

出願資格

国内学生の出願資格

下記の条件 (A)、(B) をすべて満たす者

(A) 国籍	下記のいずれかに該当する者 1. 日本国籍者（重国籍者を含む） 2. 日本で長期滞在可能な在留資格（「留学」以外）を有する外国籍者
(B) 学歴	下記のいずれかに該当する者、または 2024 年 3 月 31 日までに該当する見込みの者 1. 各国における大学を卒業した者 2. 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者 3. 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者 4. 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の 16 年の課程を修了した者 5. 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者 6. 外国の大学等において、修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者 7. 指定された専修学校の専門課程を修了した者 8. 旧制学校等を修了した者 9. 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校等、各省大学校を修了した者 10. 本学大学院において個別の入学資格審査により認めた 22 歳以上の者

外国人留学生の出願資格

下記の条件 (A) ～ (D) をすべて満たす者

(A) 国籍	下記のいずれかに該当する者 1. 入学に際して、「留学」の在留資格の取得を希望する外国籍者 2. 本学への出願時点で、すでに有効な「留学」の在留資格を有する外国籍者 ※ 重国籍者の場合、日本国籍を含まない必要があります。
(B) 学歴	下記のいずれかに該当する者、または 2024 年 3 月 31 日までに該当する見込みの者 1. 各国における大学を卒業した者 2. 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者 3. 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者 4. 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の 16 年の課程を修了した者 5. 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者 6. 外国の大学等において、修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者 7. 指定された専修学校の専門課程を修了した者 8. 旧制学校等を修了した者 9. 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校等、各省大学校を修了した者 10. 本学大学院において個別の入学資格審査により認めた 22 歳以上の者
(C) 日本語能力	出願時点で下記のいずれかに該当する者 1. JLPT（日本語能力試験）N2 レベル以上（2010 年以降に実施された試験であること） 2. EJU（日本留学試験）「日本語」科目において、[読解] / [聴解・聴読解] の合計が 260 点以上、および [記述] が 35 点以上 3. JPT（日本語能力試験）525 点以上 4. J.TEST（実用日本語検定）A-C レベル 600 点以上 5. BJT（ビジネス日本語能力テスト）420 点以上 下記のいずれかに該当する者は、日本語能力に関する条件は求めません。 1. 日本の 4 年制大学を卒業した者、または 2024 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者 2. 国費外国人留学生 3. 事前面談により英語による指導の受入れが認められた者 ※ 事前面談の手続については、14 ページの「英語による指導を希望する方へ」をご確認ください。
(D) 日本での学修状況	「留学」の在留資格を持つ者は、出願時点で在籍している日本の学校の通算出席率が 90% 以上であること ※ 在籍する日本の学校が、出席状況を証明する書類を発行しない場合は、入学グループまでお問い合わせください。

入試日程

博士前期課程・修士課程入試は、年に2回実施します。

博士前期課程・修士課程入試1期

一次審査	
出願期間	合否発表日
2023年8月23日（水）0：00～ 8月30日（水）23：59	9月22日（金）12：00

※ 出願期間内にし願登録を完了させて、入学検定料を納入してください。

※ ポートフォリオ・研究成果物の提出期限：国内から出願する場合 8月30日（水）当日消印有効／海外から出願する場合 8月30日（水）当日必着

二次審査				
出願期間	受験票印刷日	試験日	合否発表日	入学手続締切日
2023年9月22日（金）12：00～ 10月2日（月）23：59	10月18日（水）12：00～	10月21日（土）	10月27日（金）12：00	11月10日（金）

※ 出願期間内にし願登録を完了させて、入学検定料を納入してください。

※ 出願書類の提出期限：国内から出願する場合 10月2日（月）当日消印有効／海外から出願する場合 10月2日（月）当日必着

試験会場

京都精華大学

外国人留学生の出願について

1期では、「留学」の在留資格の有無に関わらず、出願することができます。

博士前期課程・修士課程入試2期

一次審査	
出願期間	合否発表日
2023年12月11日（月）0：00～ 12月18日（月）23：59	2024年1月22日（月）12：00

※ 出願期間内にし願登録を完了させて、入学検定料を納入してください。

※ ポートフォリオ・研究成果物の提出期限：12月18日（月）当日消印有効

二次審査				
出願期間	受験票印刷日	試験日	合否発表日	入学手続締切日
2024年1月22日（月）12：00～ 1月29日（月）23：59	2月21日（水）12：00～	2月24日（土）	2月29日（木）12：00	3月12日（火）

※ 出願期間内にし願登録を完了させて、入学検定料を納入してください。

※ 出願書類の提出期限：1月29日（月）当日消印有効

試験会場

京都精華大学

外国人留学生の出願について

2期では、出願時点ですでに有効な「留学」の在留資格を有する方が対象となります。なお、日本で長期滞在可能な在留資格（「留学」以外）を有する外国籍者の方で、入学後に「留学」の在留資格への切り替えを検討している場合は、一次審査の出願期間までに入学グループにご相談ください。

一次審査

下記の事前提出課題から総合的に評価し、合否を判定します。外国人留学生の方については、提出課題において日本語の運用能力についても確認します。

事前提出課題

研究科・専攻	領域	提出課題	内容	提出方法
芸術研究科 芸術専攻	全領域	志望理由書	- 志望した動機 400 字以内 - 修了後の希望進路 400 字以内	「マイページ」で入力すること。
		研究計画書	- 入学後の研究課題 100 字以内 - これまでの研究活動 600 字以内 - 入学後の研究計画 600 字以内	
		ポートフォリオ ・研究成果物	6 ページの「ポートフォリオ・研究成果物」を確認すること。	36 ページの「出願書類の送付」を確認して送付すること。
マンガ研究科 マンガ専攻	全領域	志望理由書	- 志望した動機 400 字以内 - 修了後の希望進路 400 字以内	「マイページ」で入力すること。
		研究計画書	- 入学後の研究課題 100 字以内 - これまでの研究活動 600 字以内 - 入学後の研究計画 600 字以内	
		ポートフォリオ ・研究成果物	6 ページの「ポートフォリオ・研究成果物」を確認すること。	36 ページの「出願書類の送付」を確認して送付すること。
		説明動画	あなたが提出するポートフォリオまたは研究成果物（論文等）について、3 分以内で説明してください。回答方法は自由です。	7 ページの「説明動画の提出方法」を確認して、出願期間内に提出すること。
デザイン研究科 デザイン専攻 建築専攻	全領域	志望理由書	- 志望した動機 400 字以内 - 修了後の希望進路 400 字以内	「マイページ」で入力すること。
		研究計画書	- 入学後の研究課題 100 字以内 - これまでの研究活動 600 字以内 - 入学後の研究計画 600 字以内	
		ポートフォリオ ・研究成果物	6 ページの「ポートフォリオ・研究成果物」を確認すること。	36 ページの「出願書類の送付」を確認して送付すること。
		説明動画	あなたが提出するポートフォリオまたは研究成果物（論文等）について、3 分以内で説明してください。回答方法は自由です。	7 ページの「説明動画の提出方法」を確認して、出願期間内に提出すること。
人文学研究科 人文学専攻	人文学	志望理由書	- 志望した動機 400 字以内 - 修了後の希望進路 400 字以内	「マイページ」で入力すること。
		研究計画書	- 入学後の研究課題 100 字以内 - これまでの研究活動 600 字以内 - 入学後の研究計画 600 字以内	
		研究成果物	6 ページの「ポートフォリオ・研究成果物」を確認すること。	36 ページの「出願書類の送付」を確認して送付すること。
		説明動画	以下について指定時間内に説明してください。 - 志望動機（3 分） - 修了後の希望進路（3 分） - 入学後の研究課題（4 分） - これまでの研究活動（4 分） - 入学後の研究計画（4 分） - その他（2 分）	7 ページの「説明動画の提出方法」を確認して、出願期間内に提出すること。

入学検定料

15,000 円

※ いったん納入された入学検定料の返還は、原則として行いません。

提出課題（一次審査）

ポートフォリオ・研究成果物

博士前期課程・修士課程の一次審査では、研究科・領域ごとに指定されたポートフォリオ・研究成果物の提出が必要です。

研究科・専攻	領域		提出物	その他の条件
芸術研究科 芸術専攻	実技系	洋画	・ポートフォリオ 過去4年以内に制作した、作品、課題、図面、コンセプト、エスキース、作品計画、文章、本学での研究に関する資料等をA4サイズのポートフォリオ1冊にまとめて提出すること。映像作品は、動画配信サイト（YouTubeやVimeo）にアップロードして、URLのQRコードをポートフォリオ上で表示してください。	
		日本画		
		立体造形		作品5点以上の写真を含めること。
		陶芸		作品5点以上の写真を含めること。
		染織		
		版画		
		映像		
	理論系	芸術理論	・卒業論文（出願時点の論文を含む）またはそれに準ずる論文 ・論文要旨（日本語800字以内、または英語300ワード以内） 以上の2点を提出すること（A4サイズ、書式自由、ワープロソフトで作成したもの）。	
マンガ研究科 マンガ専攻	実技系	マンガ実技	・ポートフォリオ 過去4年以内に制作した、作品、課題、図面、コンセプト、エスキース、作品計画、文章、本学での研究に関する資料等をA4サイズのポートフォリオ1冊にまとめて提出すること。映像作品は、動画配信サイト（YouTubeやVimeo）にアップロードして、URLのQRコードをポートフォリオ上で表示してください。	以下の1～3のうち、いずれか1つ以上を含めること。 1. イラスト作品(点数に上限なし) 2. カートゥーン作品（点数に上限なし） 3. ストーリーマンガ作品32ページ以内
	理論系	マンガ理論	・卒業論文（出願時点の論文を含む）またはそれに準ずる論文 ・論文要旨（日本語800字以内、または英語300ワード以内） 以上の2点を提出すること（A4サイズ、書式自由、ワープロソフトで作成したもの）。	
デザイン研究科 デザイン専攻 建築専攻	実技系	ビジュアルデザイン	・ポートフォリオ 過去4年以内に制作した、作品、課題、図面、コンセプト、エスキース、作品計画、文章、本学での研究に関する資料等をA4サイズのポートフォリオ1冊にまとめて提出すること。映像作品は、動画配信サイト（YouTubeやVimeo）にアップロードして、URLのQRコードをポートフォリオ上で表示してください。	
		プロダクトデザイン		
		建築		調査・研究論文を含めてもよい。
	理論系	デザイン理論	・卒業論文（出願時点の論文を含む）またはそれに準ずる論文 ・論文要旨（日本語800字以内、または英語300ワード以内） 以上の2点を提出すること（A4サイズ、書式自由、ワープロソフトで作成したもの）。	
人文学研究科 人文学専攻	理論系	人文学	・卒業論文（出願時点の論文を含む）またはそれに準ずる論文 ・論文要旨（日本語800字以内、または英語300ワード以内） 以上の2点を提出すること（A4サイズ、書式自由、ワープロソフトで作成したもの）。	

提出物に関する注意事項

- 卒業論文には、卒業研究、卒業レポートなどを含みます。卒業論文がない学部・学科を卒業（見込み）の方は、これまでの研究について、日本語12,000字以上または、英語7,000ワード以上で記述して提出してください。
- 提出する作品は、志願者本人が制作したオリジナルに限ります。既成の作品やキャラクターを利用・借用した作品（二次創作）は、その行為自体が批評性を伴う場合を除き、オリジナル作品とは認めません。また、AI（Artificial Intelligence）やトレース、模写などで作成した場合は、作品のどの部分に使用したかを必ず説明してください。

説明動画の提出方法

博士前期課程・修士課程の一次審査では、研究科・領域ごとに指定された課題（5 ページの「一次審査」）について、説明する動画を提出する必要があります。

①マイページでアクセス URL をお知らせ



出願期間が始まると、マイページのお知らせに、動画提出用ページへのアクセス URL が公開されます。

必ず出願期間内にアクセスして、説明動画を提出してください。出願期間終了後に提出することはできません。

②動画提出用ページ



氏名、インターネット出願時に登録したメールアドレス、電話番号などを入力して、「申し込み」をクリックしてください。
※ 登録は 1 回しかできません

③録画面面



録画が始まったら、課題について指定時間内に説明してください。録画内容を確認し、送信してください。
※ 2 回まで撮り直すことができます。

オンライン試験システムの動作環境

説明動画の提出には、オンライン試験システム「HireVue」（ハイアービュー）を使用します。スマートフォン・タブレット、パソコン（カメラ、マイク、スピーカーが付いていること）のいずれかの機器と、インターネット接続環境（350kbps/WiFi 環境を推奨）が必要になります。またスマートフォンの場合は、録画のピンボケや手ブレを避けるため、スタンドなどを利用して機器を固定してください。使用機器の推奨環境は下記の通りです。

スマートフォン・タブレットの場合	パソコンの場合
iOS：13 以上、Android：8.0 以上 <u>専用アプリ（HireVue for Candidates）を事前にインストールする必要があります。App Store、Google Play で入手できます。</u> 以下の OS とブラウザの組み合わせを利用した場合は、専用アプリは不要ですが、動作環境において専用アプリでの利用を推奨します。 ・ iOS13 以上と Safari13 以上 ・ Android8.0 と Chrome 最新バージョン	OS：macOS10.11 以上、Windows10 以上 Web ブラウザ：Google Chrome（最新版）、Firefox（最新版）、Safari11 以上、Edge16 以上（Windows10 以上） 品質と安定性の観点から、Google Chrome の使用を推奨しています。 Internet Explorer は使用できません。 CPU：最低 1GHz（2GHz を推奨） メモリ：最低 1GB 内蔵または外部の Web カメラ、マイク、スピーカー

機器や環境が用意できない場合

上記の必要な機器やインターネット環境を自分で準備できない場合は、出願期間中に入学グループに連絡してください。

オンライン試験システムの練習

オンライン試験システムの「練習用サイト」を公開しています。練習問題は実際の入試での質問とは異なりますが、機器の接続確認や回答（録画）の練習ができます。何度でも試してください。

オンライン試験システムの練習用サイト



二次審査

下記の試験から総合的に評価し、可否を判定します。外国人留学生の方については、試験において日本語の運用能力についても確認します。

二次審査 試験内容

研究科・専攻	領域		試験科目	出題内容	時間
芸術研究科 芸術専攻	実技系	全領域	小論文	与えられたテーマについて論述する。出願時に解答言語（日本語または英語）を選択すること。	集合 10 : 00 10 : 30 ~ 12 : 00 (90 分)
			面接および作品審査	研究成果や研究計画、一次審査で提出したポートフォリオに関する質疑応答、持参作品（持参物のある専攻・領域）の審査を行う。	13 : 00 から順次
	理論系	芸術理論	論述	与えられたテーマについて論述する。出願時に解答言語（日本語または英語）を選択すること。	集合 10 : 00 10 : 30 ~ 12 : 00 (90 分)
			英語	英語による課題文を読み、日本語訳および英語で論述する。辞書の持ち込みを可とする（電子辞書は除く）。	13 : 00 ~ 14 : 00 (60 分)
			口述試験	研究成果や研究計画に関する口頭発表と質疑応答を行う。また、理論研究上で必要な用語、概念等について口述試験を行う。	14 : 20 から順次
マンガ研究科 マンガ専攻	実技系	マンガ実技	小論文およびイメージ画	日本語による小論文を作成し、その内容を象徴するあるいは説明するイメージ画を描く。	集合 10 : 00 10 : 30 ~ 12 : 00 (90 分)
			面接および作品審査	研究成果や研究計画に関する質疑応答、一次審査で提出したポートフォリオと持参作品の審査を行う。	13 : 00 から順次
	理論系	マンガ理論	口述試験	研究成果や研究計画、一次審査で提出したポートフォリオに関する質疑応答、持参作品（持参物のある専攻・領域）の審査を行う。	集合 10 : 00 10 : 30 から順次
デザイン研究科 デザイン専攻 建築専攻	実技系	全領域	小論文	与えられたテーマについて論述する。出願時に解答言語（日本語または英語）を選択すること。	集合 10 : 00 10 : 30 ~ 12 : 00 (90 分)
			面接および作品審査	研究成果や研究計画、一次審査で提出したポートフォリオに関する質疑応答、持参作品（持参物のある専攻・領域）の審査を行う。	13 : 00 から順次
	理論系	デザイン理論	論述	与えられたテーマについて論述する。出願時に解答言語（日本語または英語）を選択すること。	集合 10 : 00 10 : 30 ~ 12 : 00 (90 分)
			英語	英語による課題文を読み、日本語訳および英語で論述する。辞書の持ち込みを可とする（電子辞書は除く）。	13 : 00 ~ 14 : 00 (60 分)
			口述試験	研究成果や研究計画に関する口頭発表と質疑応答を行う。また、理論研究上で必要な用語、概念等について口述試験を行う。	14 : 20 から順次
	理論系	人文学	面接	研究成果や研究計画に関する口頭発表と質疑応答を行う。	集合 10 : 00 10 : 30 から順次

試験時に使用できる用具

試験科目	使用できる用具
小論文、論述、小論文およびイメージ画	黒鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（小型のもの）。
英語	黒鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（小型のもの）、辞書（ただし電子辞書は除く）。
面接および作品審査、口述試験、面接	発表のために必要な機器（ノートパソコンなど）の使用が可能です。必要な場合は各自で用意してください。なお、映像投影用のプロジェクター、スクリーンの持ち込みは不可です。本学内の Wi-fi は利用できません。試験当日に本学から機器などの貸出しは行いません。

試験時の持参物

二次審査の持参物は下記の通りです。

研究科・専攻	領域		持参物
芸術研究科 芸術専攻	実技系	洋画	作品 5 点、スケッチ作品（1 冊にまとめたもの）
		日本画	作品 5 点
		立体造形	持参物なし
		陶芸	作品 2 点以上
		染織	作品 5 点
		版画	作品 5 点以上
	映像		作品 5 点、映像作品の場合は、再生用機器を持参すること。
マンガ研究科 マンガ専攻	理論系	芸術理論	持参物なし
	実技系	マンガ実技	一次審査で提出した（ポートフォリオに含めた）作品の原本を持参すること。
デザイン研究科 デザイン専攻 建築専攻	理論系	マンガ理論	持参物なし
	実技系	ビジュアルデザイン	作品 5 点
		プロダクトデザイン	作品 5 点
		建築	作品 3 点
人文学研究科 人文学専攻	理論系	デザイン理論	持参物なし
	理論系	人文学	持参物なし

持参物に関する注意事項

提出する作品は、志願者本人が制作したオリジナルに限ります。既成の作品やキャラクターを利用・借用した作品（二次創作）は、その行為自体が批評性を伴う場合を除き、オリジナル作品とは認めません。また、AI（Artificial Intelligence）やトレース、模写等で作成した場合は、作品のどの部分に使用したかを必ず説明してください。

作品の搬入

作品は集合会場内の指定された場所に搬入してください。

搬入時間 9：00～10：00（集合時間の10：00までに搬入を完了すること）

本学に直接、作品を搬送することはできません。また、試験終了後の返送は各自で行ってください。

入学検定料

20,000 円

※ いったん納入された入学検定料の返還は、原則として行いません。

出願書類（二次審査）

二次審査の出願時に提出する書類は下記の通りです。

国内学生の出願書類

学歴証明書類	下記のいずれかの書類（原本）を提出すること。 1. 各国における、大学の卒業証明書または卒業見込証明書 2. 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了または修了見込であることを証明する書類（修了証明書等） 3. 学士の学位授与証明書 4. その他の大学院修士課程・博士課程（前期）入学資格を証明する書類
成績証明書類	最終学歴の教育機関での修学内容を証明する書類（成績証明書の原本）を提出すること。 なお、出願時に在籍中の者は、最新の証明書を提出すること。
学生証（写し）	京都精華大学・大学院に在籍中（研究生を含む）の者は、学生証の写しを提出すること。
在留カード等（写し）	「留学」以外の在留資格を有し、国内学生として出願する者は、在留カードまたは特別永住者証明書の両面の写しを提出すること。
パスポート（写し）	「留学」以外の在留資格を有し、国内学生として出願する者は、顔写真のページの写しを提出すること。

外国人留学生の出願書類

学歴証明書類	下記のいずれかの書類（原本）を提出すること。 1. 各国における、大学の卒業証明書または卒業見込証明書 2. 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了または修了見込であることを証明する書類（修了証明書等） 3. 学士の学位授与証明書 4. その他の大学院修士課程・博士課程（前期）入学資格を証明する書類
成績証明書類	最終学歴の教育機関での修学内容を証明する書類（成績証明書の原本）を提出すること。 なお、出願時に在籍中の者は、最新の証明書を提出すること。
日本語能力を証明する書類（写し）	出願資格を満たすことを証明する成績通知書、成績証明書、成績確認書等のいずれか 1 点の写しを提出すること。 ただし、下記のいずれかに該当する者は、提出は不要です。 1. 日本の 4 年制大学を卒業した者、または 2024 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者 2. 国費外国人留学生 3. 事前面談により英語による指導の受入れが認められた者
日本での学修状況を証明する書類	出願時点で有効な「留学」の在留資格を有し、日本の学校に在籍している者は、下記の書類をすべて提出してください。 なお、各書類の有効期限は発行日から出願期間の開始日までが 30 日以内のものを有効とします。 1. 在籍を証明する書類 2. 成績を証明する書類 3. 出席状況を証明する書類（通算出席率が 90% 以上であることが必要です） ※ 学歴証明書類、成績証明書類を発行する学校と同じ場合は提出不要です。 ※ 京都精華大学・大学院に在籍中（研究生を含む）の者は提出不要です。
パスポート（写し）	顔写真のページの写しを提出すること。提出するパスポートとは別の国籍のパスポートでの入国歴がある者は、その写しと国籍離脱の証明書（戸籍謄本）も提出すること。
在留カード（写し）	両面の写しを提出すること。
学生証（写し）	京都精華大学・大学院に在籍中（研究生を含む）の者は、学生証の写しを提出すること。
英語指導受入申請書（本学指定様式）	事前面談により英語による指導の受入れが認められた者は提出すること。 様式は「インターネット出願ページ」で入手すること。
英語能力証明書類（写し）	事前面談により英語による指導の受入れが認められた者は、TOEFL-iBT（100 点以上）の成績証明書類を提出すること。 ただし、英語を第一言語（母語）とする者は提出不要。
国費外国人留学生証明書	国費外国人留学生は在籍校が発行する証明書を提出すること。

注意事項

- 各種の証明書は日本語または英語で表記されているものを提出してください。それ以外の言語で表記されている場合は、日本語または英語の翻訳を添付してください。翻訳者は問いません。また、認証翻訳（Certified Translation）でなくても構いません。なお、翻訳には、原本の内容と相違がないことを証明する第三者の公印または署名が必要となります。この場合の証明者は、日本語学校、出身学校、大使館などの公的機関しか認められません（個人は不可とします）。
- 中国の大学を卒業した者（※台湾、香港、マカオの大学は含まない）は、中国高等教育学生信息网（CHSI）が発行する学歴認証報告書（英語版を印刷したもの）の提出を認めます。（学歴証明書類、修学内容証明書類いずれも可）
- 出身学校が、卒業・修了を証明する書類の発行を行っておらず、学位記の原本以外に学歴を証明する書類がない場合、「学位記の写し」をもって学歴証明書類に代えることができます。ただし、その写しには、原本の内容と相違がないことを証明する第三者の公印または署名（Certified Copy）が必要となります。この場合の証明者は、日本語学校、出身学校、大使館などの公的機関しか認められません（個人は不可とします）。
- 経歴などの確認やその他の事由により、追加書類の提出を求める場合があります。
- 特別な事情がない限り、提出された書類は返却しません。
- 出願書類に虚偽の記載があった場合には受験できません。

ポートフォリオ・研究成果物の返却

一次審査で提出したポートフォリオ・研究成果物（論文など）は、当該入試の合否発表日以降に郵送にて返送します。返送先は、出願時に「マイページ」に登録された住所となります。

指導教員一覧

各研究科博士前期課程・修士課程における指導教員は下記のとおりです。指導教員は入学後に決定します。

英語指導欄にチェックマーク ✓ が入っている教員については、事前面談で許可を受けることで、英語指導を受けることができます。

詳しくは 14 ページの「英語による指導を希望する方へ」をご確認ください。

芸術研究科 博士前期課程 芸術専攻

領域	教員名		専門分野	英語指導
洋画	生駒 泰充	IKOMA Yasumitsu	洋画	
	小松 敏宏	KOMATSU Toshihiro	絵画／空間芸術	✓
日本画	雲丹亀 利彦	UNIGAME Toshihiko	日本画	
	中野 裕介	NAKANO Yusuke	描画 - テキスト - 空間表現／現代美術	
立体造形	吉野 央子	YOSHINO Ohji	立体造形／彫刻	
陶芸	中村 裕太	NAKAMURA Yuta	現代美術／工芸文化論	
	宮永 甲太郎	MIYANAGA Koutarou	美術	
	吉村 敏治	YOSHIMURA Toshiharu	陶芸	
染織	鳥羽 美花	TOBA Mika	染色	
	中川 裕孝	NAKAGAWA Hirotaka	テキスタイル／美術	
版画	池垣 タダヒコ	IKEGAKI Tadahiko	彫刻／銅版画／シルクスクリーン	
	北野 裕之	KITANO Hiroyuki	写真／版画	
映像	西 光一	NISHI Koichi	メディアアート	✓
	平野 砂峰旅	HIRANO Saburo	コンピュータ音楽／メディアアート／サウンドスケープ	
	宮永 亮	MIYANAGA Akira	映像表現	
芸術理論	稲賀 繁美	INAGA Shigemi	比較文学比較文化／文化交渉史	
	鯖江 秀樹	SABAE Hideki	美術史／表象文化論	

マンガ研究科 博士前期課程 マンガ専攻

領域	教員名		専門分野	英語指導
マンガ実技	小田 隆	ODA Takashi	絵画／イラストレーション／美術解剖学	
	大谷 じろう	OHTANI Jiro	マンガ	
	数井 浩子	KAZUI Hiroko	キャラクターデザイン／ストーリーメイキング	✓
	辻田 幸広	TSUJITA Yukihiro	アニメーション理論	✓
マンガ理論	姜 峻	KANG Jun	表象文化論／民俗学／文化人類学	
	小泉 真理子	KOIZUMI Mariko	コンテンツ・ビジネス／文化経済学	
	松下 哲也	MATSUSHITA Tetsuya	近現代美術史／挿画史／キャラクター表現論	
	吉村 和真	YOSHIMURA Kazuma	思想史／マンガ研究	

デザイン研究科 修士課程 デザイン専攻・建築専攻

領域	教員名		専門分野	英語指導
ビジュアルデザイン	北村 ケンジ	KITAMURA Kenji	イラストレーション	
	高橋 亨	TAKAHASHI Toru	グラフィックデザイン	
	中村 光宏	NAKAMURA Mitsuhiro	アートディレクション／グラフィックデザイン	
	森原 規行	MORIHARA Noriyuki	コミュニケーションデザイン	
プロダクトデザイン	大迫 克全	OOSAKO Katsumasa	インテリアデザイン／プロダクトデザイン	
	小北 光浩	KOKITA Mitsuhiro	ファッションデザイン	✓
	米本 昌史	YONEMOTO Masashi	インテリアプロダクトデザイン	
デザイン理論	蘆田 裕史	ASHIDA Hiroshi	ファッション論／デザイン論／美術史	
	谷本 尚子	TANIMOTO Naoko	デザイン史／デザイン論	
建築	ウスビ・サコ	Oussouby SACKO	コミュニティ論／建築計画	✓
	河井 敏明	KAWAI Toshiaki	建築設計	✓
	川上 聡	KAWAKAMI Satoshi	建築設計	✓
	岸川 謙介	KISHIKAWA Kensuke	建築設計	✓
	高松 樹	TAKAMATSU Itsuki	建築設計／インテリアデザイン／家具デザイン	✓
	葉山 勉	HAYAMA Tsutomu	建築設計／インテリアデザイン／家具デザイン／まちづくりコーディネート	✓

人文学研究科 修士課程 人文学専攻

領域	教員名		専門分野	英語指導
人文学	恩地 典雄	ONCHI Norio	都市論／環境ビジネス	
	是澤 範三	KORESAWA Norimitsu	日本上代文学／日本語史	
	澤田 昌人	SAWADA Masato	人類学／アフリカ地域研究	
	申 昌浩	SIN Chang-Ho	宗教社会学／大衆文化論	
	住友 剛	SUMITOMO Tsuyoshi	教育学／子ども支援論	
	レイチェル・ソーン	Rachel Thorn	マンガ論／ジェンダー論	✓
	高橋 伸一	TAKAHASHI Shinichi	比較文学／詩学／ヨーロッパ基層文化論	✓
	田村 有香	TAMURA Yuka	地域社会論／生活環境論	
	西野 厚志	NISHINO Atsushi	日本近現代文学／小説・批評	
	服部 静枝	HATTORI Shizue	企業論／環境マネジメント	
	藤枝 絢子	FUJIEDA Ayako	人間環境設計論／地域研究	✓
	堀井 佳代子	HORII Kayoko	対外関係史	
	前田 茂	MAEDA Shigeru	美学／映画芸術論／モダニズム論	
	藪内 智	YABUUCHI Satoshi	外国語教育／言語学（音声学・心理言語学）	✓
	山田 創平	YAMADA Sohei	都市社会学／地域研究	

英語による指導を希望する方へ

英語による指導を希望する方は、12～13ページの「指導教員一覧」で英語による指導が可能な教員を確認し、**出願開始日までに事前面談を受けてください**。受入が認められた場合でも、入試の合格を確約するものではありません。また、出願資格にある日本語能力は免除されますが、英語能力を確認するために、TOEFL-iBT100点以上の成績証明書の提出が必要です。ただし、英語を第一言語（母語）とする方は提出不要です。

入試での注意事項

- ・入試の出願にあたっては、出願書類は英語または日本語で作成して提出してください。
- ・筆記試験、面接試験においては、英語または日本語で解答してください。

申請手順

1. 英語による指導を希望する教員を「指導教員一覧」で確認
2. 「英語指導受入申請書」を本学 Web サイトから入手
3. 申請
4. 指導教員との面談（オンライン形式含む）※指導教員から「英語指導希望申請書」に署名をもらうこと
5. 入試の出願
6. 受験
7. 合否発表

申請書類

- ・英語指導受入申請書 「インターネット出願ページ」から入手してください。
- ・TOEFL-iBTの成績証明書（100点以上）の写し（英語を母語または第一言語とする方は提出不要）

申請方法

本学に在籍中の方	英語による指導を希望する教員に直接申請してください。
その他、教員の連絡先がわからない方	以下の要領で入学グループに申請してください。 ・宛先 nyushi@kyoto-seika.ac.jp ・件名に「博士前期課程・修士課程 英語による指導希望」と記入 ・本文に氏名（フリガナ）、電話番号、志望する研究科・専攻、指導を希望する教員名を記入 ・経歴書、志望理由、研究計画、TOEFL-iBTの成績証明書をメールに添付すること（書式自由） 申請期限 ・博士前期課程・修士課程入試 1 期に出願する方：2023 年 7 月 21 日（金）まで ・博士前期課程・修士課程入試 2 期に出願する方：2023 年 11 月 20 日（月）まで

教育の3つの方針

芸術研究科 博士前期課程

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

芸術研究科博士前期課程では、リベラルアーツの大学、表現の大学、グローバルな大学という、本学が掲げる3つの方針に賛同する、学士課程を修了した学生を求めています。また、研究テーマの妥当性や研究能力、研究環境への適性を審査するにあたって、以下のような5つの指標を設けます。

知識と理解	芸術における過去の研究制作の成果について知識と理解を有する者。
創造的思考と考察	探求すべき目標を明確に定め、芸術の制作ないしは研究を通じて新しい価値を創出しようとする者。
技術と表現	主体的に研究制作能力をさらに向上させ、専門分野でそれをさらに応用・展開しようとする者。
視点と協働	他者の意見を聞き入れつつ、共同してひとつのプロジェクトに打ち込むことができる者。
社会への関心と行動	現代社会が抱える問題を把握し、倫理観をもって自らの知識や技術を発信しようとする者。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

芸術研究科博士前期課程は、学士課程の教育をさらに発展させ、学位授与（ディプロマ・ポリシー）を達成するために、共通基盤科目、専門特講科目、専門研究科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講します。また、科目のナンバリングおよびカリキュラム・マップにより、カリキュラムの体系を明示します。

共通基盤科目	共通基盤科目では、各自の専門分野を社会とのかかわりのなかに位置づけ、新しい価値観を創出するのに欠かせない基礎的な能力を高める科目群を配置しています。それらを通じて、プレゼンテーション、英語読解、作品調査、展示手法などの実践的方法を学ぶことができます。また、PBL（Project-Based Learning）型演習によって高度な社会実践力を養うことができます。
専門特講科目	専門特講科目は、芸術理論、美術史、現代アートに関する高度な専門的講義で構成されています。一定の条件のもと、他研究科の講義を受講することが可能です。他の分野・ジャンルに関する歴史、理論、現代社会とのかかわりについて深く学ぶことで、一層高度な知性やより高い水準での協働を領域横断的に育むことができます。
専門研究科目	専門研究科目では、学士課程よりもさらに専門的な知識や技法を習得することを目的としています。複数教員による指導体制のもと、計画書の定期的な提出、8つの専攻での個別指導、ゼミ報告の実施によって研究制作の進捗を可視化し、2年間での修士論文ないしは修士作品の作成を目指します。 修士論文ないしは修士作品については、2年次に8専攻合同で実施される中間発表を通じて、他専攻の教員を交えた段階的な指導とチェックの機会が設けられています。また、2年次2月の学位審査会では、修士論文および修士作品について、専攻を異にする複数教員によってルーブリック評価が実施されます。その厳格な運用を通じて、提出作品の可否について判定が下されます。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

芸術研究科博士前期課程を修了した者は、本学カリキュラムを通じて身に付けた下記の5つの能力をもって、各専門分野を牽引する人材として活躍することが期待されます。

知識と理解	専門分野における新旧の研究制作の成果を熟知するとともに、それによって培われた知性と人間性で社会の発展に貢献できる。
創造的思考と考察	対象をより深く考察することができ、複数の視点から芸術や美術教育に関する問題解決の方法を探ることができる。
技術と表現	各分野での確固たる技術に立脚した表現で現代社会の共感・関心を得ることができる。
視点と協働	多様な価値観のもとで他者と協調しながら芸術や社会に関わる課題解決に取り組むことができる。
社会への関心と行動	高度なコミュニケーション、課題設定などを通じて、総合的な観点から、広く社会や教育の発展に貢献することができる。

マンガ研究科 博士前期課程

アドミッション・ポリシー（入学受け入れの方針）

マンガ研究科博士前期課程では、リベラルアーツの大学、表現の大学、グローバルな大学という、本学が掲げる3つの方針に賛同する、学士課程を修了した学生を求めています。また、研究テーマの妥当性や研究能力、研究環境への適性を審査するにあたって、以下のような5つの指標を設けます。

知識と理解	マンガやアニメーションにおける過去の研究制作の成果について知識と理解を有する者。
創造的思考と考察	探求すべき目標を明確に定め、マンガやアニメーションの制作ないしは研究を通じて新しい価値を創出しようとする者。
技術と表現	主体的に研究制作能力をさらに向上させ、専門分野でそれをさらに応用・展開しようとする者。
視点と協働	他者の意見を聞き入れつつ、共同してひとつのプロジェクトに打ち込むことができる者。
社会への関心と行動	現代社会が抱える問題を把握し、倫理観をもって自らの知識や技術を発信しようとする者。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

マンガ研究科博士前期課程は、学士課程の教育をさらに発展させ、学位授与（ディプロマ・ポリシー）を達成するために、共通基盤科目、専門特講科目、専門研究科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講します。また、科目のナンバリングおよびカリキュラム・マップにより、カリキュラムの体系を明示します。

共通基盤科目	共通基盤科目では、各自の専門分野を社会とのかかわりのなかに位置づけ、新しい価値観を創出するのに欠かせない基礎的な能力を高める科目群を配置しています。それらを通じて、プレゼンテーション、英語読解、作品調査、展示手法などの実践的方法を学ぶことができます。また、PBL（Project-Based Learning）型演習によって高度な社会実践力を養うことができます。
専門特講科目	専門特講科目は、マンガ理論に関する高度な専門的講義で構成されています。一定の条件のもと、他研究科の講義を受講することが可能です。他の分野・ジャンルに関する歴史、理論、現代社会とのかかわりについて深く学ぶことで、一層高度な知性やより高い水準での協働を領域横断的に育むことができます。
専門研究科目	専門研究科目では、学士課程よりもさらに専門的な知識や技法を習得することを目的としています。複数教員による指導体制のもと、計画書の定期的な提出、ゼミにおける報告や発表によって研究制作の進捗を可視化し、2年間での修士論文の執筆ないしは修士作品の制作を目指します。 修士論文ないしは修了作品については、2年次前期に実施される中間報告会を通じて、複数の教員を交えた段階的な指導とチェックの機会が設けられています。また、2年次後期に実施される学位審査会では、修士論文および修士作品について、複数教員によってルーブリック評価が実施されます。その厳格な運用を通じて、提出作品および論文の可否について判定が下されます。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

マンガ研究科博士前期課程を修了した者は、本学カリキュラムを通じて身に付けた下記の5つの能力をもって、各専門分野を牽引する人材として活躍することが期待されます。

知識と理解	専門分野における新旧の制作ないし研究の成果を熟知するとともに、それによって培われた知性と人間性で社会の発展に貢献できる。
創造的思考と考察	対象をより深く考察することができ、複数の視点からマンガやアニメーション教育に関する問題解決の方法を探ることができる。
技術と表現	各分野での確固たる技術に立脚した表現で現代社会の共感・関心を得ることができる。
視点と協働	多様な価値観のもとで他者と協調しながらマンガやアニメーションさらには社会に関わる課題解決に取り組むことができる。
社会への関心と行動	高度なコミュニケーション、課題設定などを通して、総合的な観点から広く社会や教育の発展に貢献することができる。

デザイン研究科 修士課程

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

デザイン研究科修士課程では、リベラルアーツの大学、表現の大学、グローバルな大学という、本学が掲げる3つの方針に賛同する、学士課程を卒業した学生を求めています。また、研究テーマの妥当性や研究能力、研究環境への適性を審査するにあたって、以下のような5つの指標を設けます。

知識と理解	専門分野における過去の研究制作の成果について知識と理解を有する者。
創造的思考と考察	探求すべき目標を明確に定め、新しい価値を創出しようとする者。
技術と表現	主体的に研究制作能力をさらに向上させ、専門分野において応用・展開しようとする者。
視点と協働	他者の意見を聞き入れつつ、共同してひとつのプロジェクトに打ち込むことができる者。
社会への関心と行動	現代社会が抱える問題を把握し、倫理観をもって自らの知識や技術を発信できる者。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

デザイン研究科修士課程は、学士課程の教育をさらに発展させ、学位授与（ディプロマ・ポリシー）を達成するために、共通基盤科目、専門特講科目、専門研究科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講します。また、科目のナンバリングおよびカリキュラム・マップにより、カリキュラムの体系を明示します。

共通基盤科目	共通基盤科目では、各自の専門分野を社会とのかかわりのなかに位置づけ、新しい価値観を創出するのに欠かせない基礎的な能力を高める科目群を配置しています。それらを通じて、プレゼンテーション、英語読解、作品調査などの実践的方法を学ぶことができます。また、PBL（Project-Based Learning）型演習によって高度な社会実践力を養うことができます。
専門特講科目	専門特講科目は、各領域に関する高度な専門講義で構成されています。一定の条件のもと、他研究科の講義を受講することが可能です。他の分野・ジャンルに関する歴史、理論、現代社会とのかかわりについて深く学ぶことで、一層高度な知性やより高い水準での協働を領域横断的に育むことができます。
専門研究科目	専門研究科目では、学士課程よりもさらに専門的な知識や技法を習得することを目的としています。複数教員による指導体制のもと、計画書の定期的な提出、2つの専攻（デザイン専攻と建築専攻）での個別指導、ゼミ報告の実施によって研究制作の進捗を可視化し、2年間での修士作品ないしは修士論文の作成を目指します。 修士作品ないしは修士論文については、2年次8月に実施される中間報告会を通じて、他領域の教員を交えた段階的な指導とチェックの機会が設けられています。また、2年次2月に実施される学位審査会では、複数教員が参加するルーブリック評価による厳正な判定が実施され、修了可否についての最終的な評価が下されます。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

デザイン研究科修士課程を修了した者は、本学カリキュラムを通じて身に付けた下記の5つの能力をもって、各専門分野を牽引する人材として活躍することが期待されます。

知識と理解	専門分野における新旧の研究制作の成果を熟知するとともに、それによって培われた知性と人間性で社会の発展に貢献できる。
創造的思考と考察	対象をより深く考察することができ、複数の視点から問題解決の方法を探ることができる。
技術と表現	各分野での確固たる技術に立脚した表現で社会の共感・関心を得ることができる。
視点と協働	多様な価値観のもとで他者と協調しながら課題解決に取り組むことができる。
社会への関心と行動	高度なコミュニケーション、課題設定などを通して、総合的な観点から社会や教育の発展に貢献することができる。

人文学研究科 修士課程

アドミッション・ポリシー（入学受け入れの方針）

人文学研究科修士課程では、リベラルアーツの大学、表現の大学、グローバルな大学という、本学が掲げる3つの方針に賛同する、学士課程を修了した学生を求めています。また、研究テーマの妥当性や研究能力、研究環境への適性を審査するにあたって、以下のような5つの指標を設けます。

知識と理解	専門分野における過去の研究成果と現在の状況について知識と理解を有し、またその更新に努める者。
創造的思考と考察	探求すべき目標を明確に定め、その探求によって新しい価値を見出し表明しようとする者。
技術と表現	主体的に研究能力をさらに向上させ、専門分野において発揮しようとする者。
視点と協働	他者の意見・考えを聞き入れつつ多角的な視点を自らの中に取り込み、相互に協調し合いながらプロジェクトに打ち込むことができる者。
社会への関心と行動	現代社会が抱える問題を把握し、それを専門分野の中に適切に位置づけ、倫理観をもって自らの知識や技術を活用しようとする者。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

人文学研究科修士課程は、学士課程の教育をさらに発展させ、ディプロマ・ポリシーに基づく学位授与を達成するために、共通基盤科目、専門特講科目、専門研究科目を体系的に編成し、講義と演習を適切に組み合わせた授業を開講します。また、科目のナンバリングおよびカリキュラム・マップにより、カリキュラムの体系を明示します。

共通基盤科目	共通基盤科目では、各自の専門分野を社会とのかかわりのなかに位置づけ、新しい価値観を見出し表明するのに欠かせない基礎的な能力を高める科目群を配置しています。それらを通じて、プレゼンテーション、英語読解、社会調査、論文執筆などの実践的方法を学ぶことができます。また、PBL（Project-Based Learning）型演習によって高度な社会実践力を養うことができます。
専門特講科目	専門特講科目は、人文学の諸領域に関する高度な専門的講義で構成されています。一定の条件のもと、他研究科の講義を受講することも可能です。他の分野・ジャンルに関する歴史、理論、現代社会とのかかわりについて深く学際的に学ぶことで、一層高度な知性やより高い水準での協働を領域横断的に育むことができます。
専門研究科目	専門研究科目では、学士課程よりもさらに専門的な知識や技法を習得することを目的としています。より専門的な特殊講義を通じて人文学における研究に慣熟する一方、継続的な演習を通じて自身の研究を進めていきます。指導教員を中心とした指導体制のもと、計画書の定期的な提出、各研究室での個別指導、ゼミ報告の実施によって研究の進捗を可視化し、2年間で修士論文の作成を目指します。 修士論文については、2年次前期末および後期中ごろに実施される修士論文中間報告会を通じて、他分野の教員を交えた段階的な指導とチェックの機会が設けられています。また、2年次後期末に実施される修士論文最終報告会は口頭試験を兼ねており、その後、主査と副査からなる学位審査会において厳正に判定され、修了可否についての最終的な評価が下されます。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

人文学研究科修士課程を修了した者は、本学カリキュラムを通じて身につけた下記の5つの能力をもって、各専門分野を牽引する人材として活躍することが期待されます。

知識と理解	専門分野における新旧の研究成果を熟知するとともに、それによって培われた知性と人間性で社会の発展に貢献できる。
創造的思考と考察	対象を深く考察し既成の枠組みにとらわれない位置づけを試み、複数の視点から問題の本質と問題解決の方向・方法を探ることができる。
技術と表現	各分野での確固たる技術に立脚した追究によって価値観の枠組みを問い直し、社会の関心を得ることができる。
視点と協働	多様な価値観のもとで他者と協調しながら課題解決に取り組むことができる。
社会への関心と行動	高度なコミュニケーション、課題設定などを通して、専門性に立脚しつつ総合的な観点から社会や文化の発展に貢献することができる。

博士後期課程

芸術研究科

マンガ研究科

募集人員

研究科	専攻	募集人数
芸術研究科	芸術専攻	5 名
マンガ研究科	マンガ専攻	4 名

出願資格

国内学生の出願資格

下記の条件 (A) ～ (C) をすべて満たす者

(A) 国籍	下記のいずれかに該当する者 1. 日本国籍者（重国籍者を含む） 2. 日本で長期滞在可能な在留資格（「留学」以外）を有する外国籍者
(B) 学歴	下記のいずれかに該当する者、または 2024 年 3 月 31 日までに該当する見込みの者 1. 各国における、修士の学位や専門職学位を有する者 2. 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者 3. 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者 4. 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者 5. 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者 6. 大学等を卒業し、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、本学大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者 7. 本学大学院において個別の入学資格審査により認めた 24 歳以上の者
(C) 事前面談を受けた者	出願時点で指導を希望する教員との「事前面談」を受けた者。 事前面談の手続については、25 ページの「事前面談」をご確認ください。

外国人留学生の出願資格

下記の条件 (A) ～ (D) をすべて満たす者

(A) 国籍	下記のいずれかに該当する者 1. 入学に際して、「留学」の在留資格の取得を希望する外国籍者 2. 本学への出願時点で、すでに有効な「留学」の在留資格を有する外国籍者 ※ 重国籍者の場合、日本国籍を含まないことが必要です。
(B) 学歴	下記のいずれかに該当する者、または 2024 年 3 月 31 日までに該当する見込みの者 1. 各国における、修士の学位や専門職学位を有する者 2. 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者 3. 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者 4. 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者 5. 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者 6. 大学等を卒業し、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、本学大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者 7. 本学大学院において個別の入学資格審査により認めた 24 歳以上の者
(C) 日本での学修状況	「留学」の在留資格を有する者は、出願時点で在籍している学校の通算出席率が 90% 以上であること ※ 在籍する日本の学校が、出席状況を証明する書類を発行しない場合は、入学グループまでお問い合わせください。
(D) 事前面談を受けた者	出願時点で指導を希望する教員との「事前面談」を受けた者。 事前面談の手続については、25 ページの「事前面談」をご確認ください。

試験

試験日程

出願期間	受験票印刷日	試験日	合否発表日	入学手続締切日
2023年10月23日(月) 0:00～ 10月31日(火) 23:59	11月22日(水) 12:00～	11月26日(日)	12月4日(月) 12:00	12月15日(金)

※ 出願期間内に出願登録を完了させて、入学検定料を納入してください。

※ 出願書類の提出期限：国内から出願する場合 10月31日(火) 当日消印有効／海外から出願する場合 10月31日(火) 当日必着

試験会場

京都精華大学

事前提出課題

下記について、インターネット出願時に「マイページ」で入力してください。

志望理由書	志望した動機 400字以内 修了後の希望進路 400字以内
研究計画書	入学後の研究課題 100字以内 これまでの研究活動 1,600字以内 入学後の研究計画 1,600字以内

試験内容

試験および提出課題から総合的に評価し、合否を判定します。外国人留学生の方については、試験と提出物から日本語の運用能力についても確認します。

研究科	試験科目	出題内容	時間
芸術研究科	外国語	英語による文章等を読み解し、日本語で要約、英語で論述する。	集合 12:30 13:00～14:00 (60分)
	口述試験	研究成果や研究計画に関する口述説明、持参作品や提出論文に関するプレゼンテーション、質疑応答等を行う。	14:30 から順次
マンガ研究科	外国語	日本語による文章等を読み解し、英語で要約、日本語で論述する。	集合 12:30 13:00～14:00 (60分)
	口述試験	研究成果や研究計画に関する口述説明、持参作品や提出論文に関するプレゼンテーション、質疑応答等を行う。	14:30 から順次

試験時に使用できる用具

試験科目	使用できる用具
外国語	黒鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（小型のもの）、辞書（ただし電子辞書は除く）。
口述試験	発表のために必要な機器（ノートパソコンなど）の使用が可能です。必要な場合は各自で用意してください。なお、映像投影用のプロジェクター、スクリーンの持ち込みは不可です。本学内の Wi-fi は利用できません。試験当日に本学から機器などの貸出しは行いません。

試験時の持参物

口述試験において、作品や研究成果についてプレゼンテーションを行ってもらいます。作品、ポートフォリオ、論文から選択（複数選択も可能）して、試験当日に持参してください（論文は除く）。

研究科	持参物	内容
芸術研究科 マンガ研究科	作品	修士課程において制作した作品（修了作品等）、またはそれに相当する作品を試験当日に持参すること。 点数、形式、サイズ等の指定はありません。 ※ ストーリーマンガ作品は、出願時に 32 ページ以内のストーリーマンガ作品の写し（A4 サイズ）1 点を提出すること。
	ポートフォリオ	作品を持参することが難しい場合に限り、ポートフォリオでの提出を認めます。
	論文（事前提出）	修士論文（出願時点の修士論文を含む）については、論文の写しとその要旨（2,000 字程度）、または研究成果を示す刊行物の写し等（該当ページのみ）いずれか 1 点を出願時に提出すること。

持参物に関する注意事項

提出する作品は、志願者本人が制作したオリジナルに限ります。既成の作品やキャラクターを利用・借用した作品（二次創作）は、その行為自体が批評性を伴う場合を除き、オリジナル作品とは認めません。また、AI（Artificial Intelligence）やトレース、模写等で作成した場合は、作品のどの部分に使用したかを必ず説明してください。

作品の搬入

作品は集会会場内の指定された場所に搬入してください。

搬入時間 11:30～12:30（集合時間の 12:30 までに搬入を完了すること）

本学に直接、作品を搬送することはできません。また、試験終了後の返送は各自で行ってください。

入学検定料

35,000 円

※ いったん納入された入学検定料の返還は、原則として行いません。

出願書類

国内学生の出願書類

学歴証明書類	下記のいずれかの書類（原本）を提出すること。 1. 各国における、修士の学位授与証明書、または修士の学位授与見込証明書 2. 各国における、専門職学位授与証明書、または専門職学位授与見込証明書 3. 各国における、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与されたことを証明する書類 4. その他の大学院博士課程（後期）入学資格を証明する書類
成績証明書類	最終学歴の教育機関での修学内容を証明する書類（成績証明書の原本）を提出すること。 なお、出願時に在籍中の者は最新の証明書を提出すること。
事前面談書（本学指定の様式）	指導予定教員の署名が入った事前面談書を提出すること。 様式は「インターネット出願ページ」で入手すること。
プレゼンテーション方法申告書（本学指定の様式）	口述試験におけるプレゼンテーション方法を下記から選択して申告すること（複数選択も可能）。 様式は本学「インターネット出願ページ」で入手すること。 1. 作品 2. ポートフォリオ 3. 論文 ※ 作品を選択した者は、作品各点についての概要（技法、材質、サイズ等）を記述すること。
事前提出物（写し）	プレゼンテーションにおいて、ストーリーマンガ作品または論文を用いる者は、以下を提出すること。 ・ストーリーマンガ作品：32 ページ以内のストーリーマンガ作品の写し（A4 サイズ）1 点 ・論文：修士論文（出願時点の修士論文を含む）の写しとその要旨（2,000 字程度）、または研究成果を示す刊行物の写し等（該当ページのみ）いずれか 1 点
学生証（写し）	京都精華大学・大学院に在籍中（研究生を含む）の者は、学生証の写しを提出すること。
在留カード等（写し）	「留学」以外の在留資格を有し、国内学生として出願する者は、在留カードまたは特別永住者証明書の両面の写しを提出すること。
パスポート（写し）	「留学」以外の在留資格を有し、国内学生として出願する者は、顔写真のページの写しを提出すること。

注意事項

- ・ 各種の証明書は日本語または英語で表記されているものを提出してください。それ以外の言語で表記されている場合は、日本語または英語の翻訳を添付してください。翻訳者は問いません。また、認証翻訳（Certified Translation）でなくても構いません。なお、翻訳には、原本の内容と相違がないことを証明する第三者の公印または署名が必要となります。この場合の証明者は、日本語学校、出身学校、大使館などの公的機関しか認められません（個人は不可とします）。
- ・ 中国の大学を卒業した者（※台湾、香港、マカオの大学は含まない）は、中国高等教育学生信息网（CHSI）が発行する学歴認証報告書（英語版を印刷したもの）の提出を認めます。（学歴証明書類、修学内容証明書類いずれも可）
- ・ 出身学校が、卒業・修了を証明する書類の発行を行っておらず、学位記の原本以外に学歴を証明する書類がない場合、「学位記の写し」をもって学歴証明書類に代えることができます。ただし、その写しには、原本の内容と相違がないことを証明する第三者の公印または署名（Certified Copy）が必要となります。この場合の証明者は、日本語学校、出身学校、大使館などの公的機関しか認められません（個人は不可とします）。
- ・ 経歴などの確認やその他の事由により、追加書類の提出を求める場合があります。
- ・ 特別な事情がない限り、提出された書類は返却しません。
- ・ 出願書類に虚偽の記載があった場合には受験できません。

外国人留学生の出願書類

学歴証明書類	下記のいずれかの書類（原本）を提出すること。 1. 各国における、修士の学位授与証明書、または学位授与見込証明書 2. 各国における、専門学位授与証明書、または学位授与見込証明書 3. 各国における、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与されたことを証明する書類 4. その他の大学院博士課程（後期）入学資格を証明する書類
成績証明書類	最終学歴の教育機関での修学内容を証明する書類（成績証明書の原本）を提出すること。 なお、出願時に在籍中の者は最新の証明書を提出すること。
日本での学修状況証明書類	出願時点で有効な「留学」の在留資格を有し、日本の学校に在籍している者は、下記の書類を全て提出してください。なお、各書類の有効期限は発行日から出願期間の開始日までが 30 日以内のものを有効とします。 1. 在籍を証明する書類 2. 成績を証明する書類 3. 出席状況を証明する書類（通算出席率が 90% 以上であることが必要です） ※ 学歴証明書類、成績証明書類を発行する学校と同じ場合は提出不要です。 ※ 京都精華大学・大学院に在籍中（研究生を含む）の者は提出不要です。
事前面談書（本学指定の様式）	指導予定教員の署名が入った事前面談書を提出すること。 様式は「インターネット出願ページ」で入手すること。
プレゼンテーション方法申告書	口述試験におけるプレゼンテーション方法を下記から選択して申告すること（複数選択可）。 様式は「インターネット出願ページ」で入手すること。 1. 作品 2. ポートフォリオ 3. 論文 ※ 作品を選択した者は、作品各点についての概要（技法、材質、サイズ等）を記述すること
事前提出物（写し）	プレゼンテーションにおいて、ストーリーマンガ作品または論文を用いる者は、以下を提出すること。 ・ストーリーマンガ作品：32 ページ以内のストーリーマンガ作品の写し（A4 サイズ）1 点 ・論文：修士論文（出願時点の修士論文を含む）の写しとその要旨（2,000 字程度）、または研究成果を示す刊行物の写し等（該当ページのみ）いずれか 1 点
パスポート（写し）	顔写真のページの写しを提出すること。提出するパスポートとは別の国籍のパスポートでの入国歴がある者は、その写しと国籍離脱の証明書（戸籍謄本）も提出すること。
在留カード（写し）	両面の写しを提出すること。
学生証（写し）	京都精華大学・大学院に在籍中（研究生を含む）の者は、学生証の写しを提出すること。
国費外国人留学生証明書	国費外国人留学生は在籍校が発行する証明書を提出すること。

注意事項

- ・ 各種の証明書は日本語または英語で表記されているものを提出してください。それ以外の言語で表記されている場合は、日本語または英語の翻訳を添付してください。翻訳者は問いません。また、認証翻訳（Certified Translation）でなくても構いません。なお、翻訳には、原本の内容と相違がないことを証明する第三者の公印または署名が必要となります。この場合の証明者は、日本語学校、出身学校、大使館などの公的機関しか認められません（個人は不可とします）。
- ・ 中国の大学を卒業した者（※台湾、香港、マカオの大学は含まない）は、中国高等教育学生信息网（CHSI）が発行する学歴認証報告書（英語版を印刷したもの）の提出を認めます。（学歴証明書類、修学内容証明書類共に）
- ・ 出身学校が、卒業・修了を証明する書類の発行を行っておらず、学位記の原本以外に学歴を証明する書類がない場合、「学位記の写し」をもって学歴証明書類に代えることができます。ただし、その写しには、原本の内容と相違がないことを証明する第三者の公印または署名（Certified Copy）が必要となります。この場合の証明者は、日本語学校、出身学校、大使館などの公的機関しか認められません（個人は不可とします）。
- ・ 経歴などの確認やその他の事由により、追加書類の提出を求める場合があります。
- ・ 特別な事情がない限り、提出された書類は返却しません。
- ・ 出願書類に虚偽の記載があった場合には受験できません。

事前面談

博士後期課程に志願する方は、**出願開始日までに必ず希望する指導教員との事前面談を受けてください。**事前面談では、志願者の研究内容と志望する研究領域について確認を行います。論文、ポートフォリオなどを持参しても構いませんが、指導や講評は行いません。また、事前面談は入試の合格、入学後の指導を確約するものではありません。博士後期課程における指導教員は、26 ページの「指導教員一覧」をご確認ください。

申請手順

1. 指導を希望する教員を確認
2. 「博士後期課程 事前面談申請書」を本学 Web サイトから入手
3. 申請
4. 指導教員との面談（オンライン形式含む） ※指導教員から「博士後期課程 事前面談申請書」に署名をもらうこと
5. 入試の出願
6. 受験
7. 合否発表

申請書類

「博士後期課程 事前面談申請書」「インターネット出願ページ」から入手してください。

申請方法

本学に在籍中の方	指導を希望する教員に直接申請してください。
その他、教員の連絡先がわからない方	以下の要領で入学グループに申請してください。 - 宛先 nyushi@kyoto-seika.ac.jp - 件名に「博士後期課程 事前面談希望」と記入 - 本文に氏名（フリガナ）、電話番号、志望する研究科・専攻、指導を希望する教員名を記入 - 経歴書、志望理由、研究計画をメールに添付すること（書式自由） 申請期限 2023 年 10 月 2 日（月）まで

指導教員一覧

各研究科博士後期課程における指導教員は下記のとおりです。出願にあたっては、指導を希望する教員との事前面談を必ず受ける必要があります。
詳しくは 25 ページの「事前面談」をご確認ください。
英語指導欄にチェックマーク ✓ が入っている教員については、英語による指導を受けることができます。

芸術研究科 博士後期課程 芸術専攻

教員名		専門分野	英語指導
稲賀 繁美	INAGA Shigemi	比較文学比較文化／文化交渉史	
ウスビ・サコ	Oussouby SACKO	コミュニティ論／建築計画	✓
大迫 克全	OOSAKO Katsumasa	インテリアデザイン／プロダクトデザイン	
北野 裕之	KITANO Hiroyuki	写真／版画	
小松 敏宏	KOMATSU Toshihiro	絵画／空間芸術	✓
斎藤 光	SAITOH Hikaru	科学史・科学論／近現代文化誌	
鯖江 秀樹	SABAE Hideki	美術史／表象文化論	
澤田 昌人	SAWADA Masato	人類学／アフリカ地域研究	
谷本 尚子	TANIMOTO Naoko	デザイン史／デザイン論	
鳥羽 美花	TOBA Mika	染色	
葉山 勉	HAYAMA Tsutomu	建築設計／インテリアデザイン／家具デザイン／まちづくりコーディネート	✓
平野 砂峰旅	HIRANO Saburo	コンピュータ音楽／メディアアート／サウンドスケープ	
前田 茂	MAEDA Shigeru	美学／映画藝術論	
宮永 甲太郎	MIYANAGA Koutarou	美術	
安田 昌弘	YASUDA Masahiro	ポピュラー音楽研究／文化社会学	
吉野 央子	YOSHINO Ohji	立体造形／彫刻	

マンガ研究科 博士後期課程 マンガ専攻

教員名		専門分野	英語指導
姜 峻	KANG Jun	表象文化論／民俗学／文化人類学	
小泉 真理子	KOIZUMI Mariko	コンテンツ・ビジネス／文化経済学	
辻田 幸広	TSUJITA Yukihiro	アニメーション理論	✓
松下 哲也	MATSUSHITA Tetsuya	近現代美術史／挿画史／キャラクター表現論	
吉村 和真	YOSHIMURA Kazuma	思想史／マンガ研究	

教育の3つの方針

芸術研究科 博士後期課程

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

芸術研究科博士後期課程では、リベラルアーツの大学、表現の大学、グローバルな大学という、3つの方針に賛同する博士前期課程を修了した人物を求めています。また、入試に先立って事前に指導を希望する教員との面談の機会を設けることで、研究テーマの妥当性や研究能力、研究環境への適性について、一定の合意を得ることを前提としたうえで、以下の5つの指標に基づいて入学試験にて可否を判定します。

知識と理解	芸術ないしはデザインにまつわる領域に強い関心をもち、かつそれらの既往研究の成果について高い水準の知識と理解を有する者。
創造的思考と考察	博士論文で探求すべき目標を明確に定め、それを継続的に深く考察することで新しい価値を創出できる者。
技術と表現	自ら集めた資料に即して知見をまとめ、論理的な文章にすることができる者。
視点と協働	他者を受け入れ、その意見を聞き入れつつ、自律的に研究活動を進めることができる者。
社会への関心と行動	倫理観をもって学会や研究会などに参加し、研究成果を正しく発信できる者。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

京都精華大学大学院博士後期課程では、博士前期課程の教育をさらに発展させ、学位授与（ディプロマ・ポリシー）を達成するために、主査1名・副査2名以上の複数教員による個別具体的な指導を実施します。さらに、表現研究計画演習、表現総合研究（1～3）という授業編成で隣接分野への理解を深めながら、研究テーマ、研究計画、調査手法、文章作成をより専門的に学修していきます。定期的に研究記録書を記載・提出することで研究・調査の進捗を可視化し、3年次での博士論文完成を目指します。

自主的かつ真摯に研究に取り組むことを前提として、博士論文の作成は段階的に進められます。1年次には「公開報告会」で1年間の研究成果を公にすること、新たに探究すべき課題を見出すことが求められます。2年次には、「学位審査予備審査会」にて博士学位論文を執筆するに足る学術的素養を身に付けているのか、3名以上の指導者による審査を受け、審査に合格した者が学位論文提出の資格を得ることができます。3年次には、「学位審査会」にて、主査1名、副査2名以上の教員によって評価が実施されます。その厳格な運用を通じて、提出論文の可否について判定が下されます。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

芸術研究科博士後期課程を修了した者は、本学カリキュラムを通じて身に付けた下記のような能力をもって、大学において専門分野を牽引する高度専門職業人ないしは研究者・教育者として活躍することが期待されます。

知識と理解	過去から現在に至る研究成果のなかで、未来の展望を予測し、自身の研究をその中に正しく位置づけることができる。
創造的思考と考察	研究対象を多角的に分析し、独創的な見解を創出することができる。
技術と表現	調査対象について複数の資料を的確に整理し、複数の観点から論理的な一貫性のある論文をまとめ上げることができる。
視点と協働	特定の分野において確固たる研究者として自立し、専門分野の問題解決を先導することができる。
社会への関心と行動	高度なコミュニケーションおよび、みずからの分析力と総合力を基盤として、芸術にまつわる知見をもって社会や教育の発展に貢献することができる。

マンガ研究科 博士後期課程

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

マンガ研究科博士後期課程では、リベラルアーツの大学、表現の大学、グローバルな大学という、3つの方針に賛同する博士前期課程を修了した人物を求めています。また、入試に先立って事前に指導を希望する教員との面談の機会を設けることで、研究テーマの妥当性や研究能力、研究環境への適性について、一定の合意を得ることを前提としたうえで、以下の5つの指標に基づいて入学試験にて可否を判定します。

知識と理解	マンガ・アニメーションにまつわる領域に強い関心を持ち、かつそれらの既往研究の成果について高い水準の知識と理解を有する者。
創造的思考と考察	博士論文で探求すべき目標を明確に定め、それを継続的に深く考察することで新しい価値を創出できる者。
技術と表現	自ら集めた資料に即して知見をまとめ、論理的に説明し、表現することができる者。
視点と協働	他者を受け入れ、その意見を聞き入れつつ、自律的に研究活動を進めることができる者。
社会への関心と行動	倫理観をもって学会や研究会などに参加し、研究成果を正しく発信できる者。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

京都精華大学大学院博士後期課程では、博士前期課程の教育をさらに発展させ、学位授与（ディプロマ・ポリシー）を達成するために、主査1名・副査2名以上の複数教員による個別具体的な指導を実施します。さらに、マンガ研究計画演習、マンガ総合研究（1～3）という授業編成で研究領域の理解と思考を深め、文献・資料収集・分析の方法を身に付け、研究テーマ、研究計画、調査手法、文章作成をより専門的に学修していきます。定期的に研究記録書を記載・提出することで研究・調査の進捗を可視化し、3年次での博士論文完成を目指します。

自主的かつ真摯に研究に取り組むことを前提として、博士論文の作成は段階的に進められます。2年次には、「学位審査予備審査」にて博士学位論文を執筆するに足る業績を持ち、学術的素養を身に付けているのか、3名以上の指導者による審査を受け、審査に合格した者が学位論文提出の資格を得ることができます。3年次には、「学位審査会」にて、主査1名、副査2名以上の教員によって評価が実施されます。その厳格な運用を通じて、提出論文の可否について判定が下されます。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

マンガ研究科博士後期課程を修了した者は、本学カリキュラムを通じて身に付けた下記のような能力をもって、大学において専門分野を牽引する高度専門職業人ないしは研究者・教育者として活躍することが期待されます。

知識と理解	過去から現在に至る研究成果のなかで、未来の展望を予測し、自身の研究をその中に正しく位置づけることができる。
創造的思考と考察	研究対象を多角的に分析し、独創的な見解を創出することができる。
技術と表現	調査対象について複数の資料を的確に整理し、複数の観点から論理的一貫性のある論文をまとめ上げることができる。
視点と協働	特定の分野において確固たる研究者として自立し、専門分野の問題解決を先導することができる。
社会への関心と行動	高度なコミュニケーションおよび、みずからの分析力と総合力を基盤として、マンガ・アニメーションにまつわる知見をもって社会や教育の発展に貢献することができる。

共通事項

受験上の注意

試験室の案内

1. 受験票には QR コードを掲載しています。これをスマートフォンで読み込むことで、「試験室の案内地図」が表示されます。「試験室の案内地図」は試験当日に公開します。
2. 集合時間は試験開始時刻の 30 分前です。また、試験室への入室は試験開始時刻の 60 分前から可能です。
3. 机には志願者ごとの座席番号札を掲示していますので、受験票に記載された座席番号を確認し、指定された座席に着席してください。
4. **試験開始時刻から 30 分を超えて遅刻した場合は受験を認めません。**

試験当日の注意

1. 天候などによる、交通機関への影響に十分に留意し、試験開始時刻に遅れないよう注意してください。
2. 台風、地震などの自然災害、火災、停電、その他不可抗力による事故などが発生した場合、試験開始時刻・終了時刻の繰り下げや、試験日時の変更などの緊急措置をとることがあります。**緊急時における入試の対応については、本学 Web サイト（入試&高校生・受験生向け情報ページ）でお知らせします。**なお、それによって生じた受験者の負担費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。
3. 服装は自由、上履きは不要です。ただし、英文字や図などがプリントされている洋服、マスクなどは着用しないでください。
4. 試験会場では他の受験者との会話は謹んでください。
5. 受験票は必ず「マイページ」より印刷し、忘れないように持参してください（36 ページの「受験票の印刷」参照）。紛失または忘れた場合は、試験開始までに本学の係員に申し出てください。

受験上の注意

1. 携帯電話、スマートフォン、イヤホンなどの電子機器は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し、電源を切ってカバンに収納してください。試験時間中にこれらの電子機器を身につけていると不正行為になることがあります。なお、カバンの中で携帯電話などが鳴った場合は、試験監督者が本人の了解を得ずに試験室の外に持ち出すことがあります。
2. 試験で使用できる用具については、試験科目ごとに指定されたもの以外は認めません。ただし次のものは必要に応じて使用することを認めます。時計（辞書・計算機能のあるものや、それらの機能の有無が判別できないもの、スマートウォッチは不可）、メガネ、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋・箱から取り出したもの）
3. 筆記用具、画材などの貸し出しは行いません。
4. 耳栓は、監督者の指示などが聞き取れない場合がありますので、使用することを認めません。
5. 試験室では監督者の指示に従ってください。従わない場合は不正行為になることがあります。
6. 試験中に監督者が試験実施上必要な打ち合わせ、指示、説明、巡回を行うことによって生じる音などについて、特別な措置は行いません。
7. 試験室の設備（椅子・机・空調・照明・音響設備など）の違いなどに関する配慮は一切行いません。
8. 試験室を換気するために窓や扉の開放を行うことがあります。冬季においては防寒着を持参してください。
9. 試験中の生活騒音（日常生活において通常起こりうる騒音）などについて、特別な措置は行いません。例として、風雨、雷鳴、航空機、自動車、鉄道などの騒音、緊急車両のサイレン、動物の泣き声、周辺イベントのアナウンスや歓声など、工事の音、周辺建物のチャイム音、試験室の空調や換気扇、携帯電話や時計などの短時間の鳴動、他の受験者が発する咳・くしゃみ・鼻をすする音・筆記用具の使用音など。

不正行為

以下のことをすると不正行為になります。不正行為であると判断した場合、直ちに試験の中止と退室を命じ、当該年度の入学試験のすべてを無効とします（入学検定料の返還はしません）。すでに実施した入学試験で合格している場合も、合格を遡及して取り消します。また、以後に実施される入学試験の受験を認めません。

1. カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案などを見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
2. 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをすること。
3. 本人になりすまして、他人に受験させること。
4. 試験監督者による「解答を始めてください」の指示の前に、問題冊子を開いたり、解答を始めること。
5. 解答用紙へ故意に虚偽の記入（解答用紙に本人以外の氏名や座席番号を記入するなど）をすること。
6. 試験時間中に、問題冊子・解答用紙を試験室から持ち出すこと。
7. 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、イヤホン、ウェアラブル端末、電子辞書、IC レコーダーなどの電子機器類をカバンに収納せず、身につけたり手に持っていること。
8. 試験監督者による「解答をやめてください」の指示の後に、解答をすること。
9. 出願時に、故意に虚偽の登録や書類提出（本人以外の氏名などを入力したり、本人以外の写真を登録したりするなど）をすること。
10. 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申し出をすること。
11. その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

感染症への対応

志願者が学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザなど）に罹患した場合、その感染症が他の受験者や監督者に広がるおそれがありますので、担当医師が「感染のおそれがない」と認めない限り、原則として受験することはできません。

感染症による入学検定料返還または振替受験申請

志願者が学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザなど）の罹患によって試験を欠席した場合、入学検定料（欠席した日）の返還や、後日の入試種別への振替受験を申請することができます。申請方法は以下の通りです。

1. 出願した試験日当日 17:00 までに、メールまたは電話で入学グループに連絡してください。
2. 「入学検定料返還または振替受験申請書」（本学指定様式）と、診断書（学校保健安全法で出席停止が定められている感染症名、欠席した試験日が含まれる加療期間）の写しを、欠席した試験日を含め 7 日以内に送付してください。

※ 期限内に申請しなかった場合は受け付けません。

※ 後日の入試種別を振替受験する場合でも、出願登録などは各自で行う必要があります。

振替受験の対象となる入試

振替受験の申請は、博士前期課程・修士課程入試 1 期が対象の入試となり、博士前期課程・修士課程入試 2 期に振替受験できます。ただし、外国人留学生については「留学」の在留資格を有する方のみが対象となります。

なお、博士前期課程・修士課程入試 2 期と博士後期課程入試では、振替受験ができません。

受験上の配慮

障害・疾病・負傷などがあるために受験上の合理的配慮を希望する方は、**出願開始日の 1 ヶ月前までに**入学グループにご連絡ください。申請手順は以下の通りです。なお、出願後に不慮の事故（交通事故、負傷、発病）などにより、配慮が必要となった場合も、すみやかにご連絡ください。

1. 出願開始日の 1 ヶ月前までに入学グループにご連絡ください。
2. 「受験上の配慮申請書」をお渡ししますので、必要事項を記入のうえ、根拠書類（医師の診断書、検査結果、障害者手帳などの写し）を添付して、入学グループに送付してください。
3. 本学から、決定した配慮内容をお知らせします（必要な場合は面談を行います）。

入学後の修学支援

修学上の合理的配慮の相談を受け付けています。修学上の合理的配慮について質問や相談などがある場合は、本学の障害学生支援室までメールでお問合せください。必要な場合は、障害学生支援室および、入学を予定している研究科の教員との面談を行います。

修学上の配慮に関する相談は、入学手続完了後でも可能ですが、本学での準備に時間を要する場合もありますので、できる限り早めにご相談をお願いします。

本学の支援制度の内容や利用方法、施設・設備などについては、本学 Web サイト（障害学生支援ページ）でご確認ください。

障害学生支援ページ



自然災害等の被災者に対する学費減免等救済措置

本学では、自然災害などにより被災した保護者の方の経済的負担を軽減し、受験生の進学のための機会を確保を図るために、災害救助法などの適用地域居住の被災者を対象とした救済措置を設けています。救済措置の適用を希望する場合は入学グループまでご連絡ください。

	入学前	入学後
金額（年間）	入学検定料：全額免除 入学金：全額免除 授業料：年間授業料の 1/4 の額を減免	最大年間授業料の 1/2 の額を減免
対象	災害救助法の適用地域に志願者本人もしくは学費支弁者が居住し、就学継続が著しく困難となった者 ※ 被災状況による支援基準があります。	
採用人数	不定	
申請および選考方法	提出書類により被災状況と家計、国や地方公共団体による支援状況、学内外の奨学金利用状況を総合的に審査	
時期	災害発生時	

インターネット出願手順

本学ではインターネットで出願を受付けており、最初に「マイページ」の登録が必要になります。

以下では「マイページ」の登録手順について、要点だけを説明しています。実際の登録にあたっては、画面の指示に従って進めてください。

「インターネット出願ページ」「マイページ」の公開は、2023年8月下旬を予定しています。

①入試情報ページ



本学 Web サイトの入試情報ページから、「インターネット出願ページ」へ進んでください。

②インターネット出願ページ



画面上部の「マイページ」ボタンをクリックして進んでください。

インターネット出願ページには、出願方法、書類の送付要領、入学検定料の納入方法、よくある質問など、入試に関する情報を掲載しています。

また、奨学金の申請書など、本学指定様式を公開していますので、必要な方は様式ファイルをダウンロードしてご利用してください。

インターネット出願ページ



③マイページのログインページ



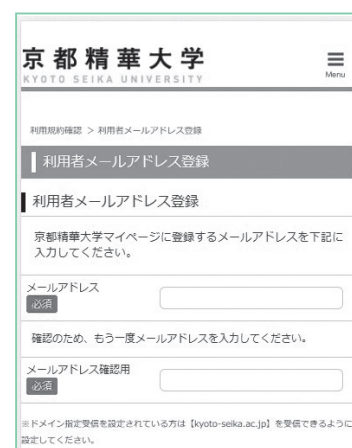
「マイページ」のログイン画面が表示されます。初めて利用する場合は、画面下の「マイページを初めてご登録の方」から進んでください。

④利用規約の確認



利用規約確認画面が表示されますので、内容を確認の上、「同意する」をクリックしてください。

⑤メールアドレスの入力



マイページ登録用のメールアドレスを入力してください。入力後に「マイページ仮登録完了」通知メールが届きますので、メール本文の URL にアクセスして本登録を行ってください。

⑥基本情報、顔写真の登録

本登録が完了すると、「マイページ」で基本情報・顔写真の登録ができるようになります。まず、「基本情報の登録」から始めてください。

⑦志願者区分の選択

出願予定入試

「大学院入学試験」を選択してください。

出願区分

「国内学生」または「留学生」から選択してください。日本国内に在住し、「留学」の在留資格を有する（または取得を希望する）外国籍者は、「留学生」を選択してください。

⑧基本情報の入力

画面の指示に従って、基本情報を入力してください。

経歴書

経歴書欄に、最終学歴、これまでの学歴・職歴を入力してください。

基本情報の入力完了したら、「顔写真登録」へ進んでください。

顔写真の登録

出願にあたっては顔写真が必要です。以下の要領にしたがって顔写真を登録してください。

顔写真は試験当日の本人照合、入学後の学生証用の写真として利用します。

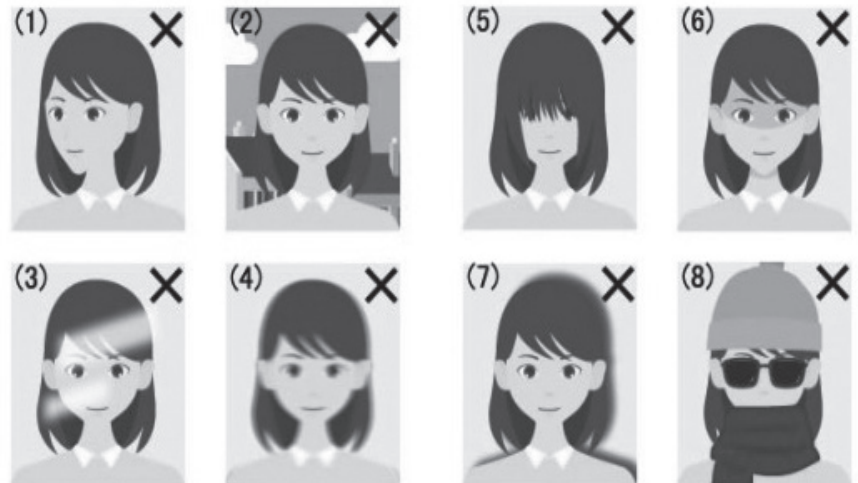
※ 学生証用の写真は、入学手続時に変更することができます。

適切な写真の例



- ・ カラー写真
- ・ 上半身・正面
- ・ 無帽
- ・ 背景なし
- ・ 枠なし
- ・ 学校の制服以外であること
- ・ スマートフォン、アプリなどで加工を施していないこと

不適切な写真の例



- ・ 正面を向いていない
- ・ 背景に風景や柄が写っている
- ・ 照明が反射している
- ・ ピントがぼけたり、手振れによって不鮮明
- ・ 前髪が長すぎて目元が隠れている
- ・ 顔に影が写っている
- ・ マフラーやスカーフで顔の輪郭が隠れている

出願方法

基本情報の入力と顔写真の登録が完了し、出願期間になると、出願登録へ進むことができます。

以下では出願方法について、要点だけを説明しています。実際の登録にあたっては、画面の指示に従って進めてください。

- ・ **出願登録が完了し、入学検定料を納入した後、出願した内容（志望研究科、志望理由書など）を変更することはできません。**
入学検定料を納入する前であれば、登録をやり直すことができます。
- ・ 出願登録の完了後に、氏名や住所などの個人情報の誤りに気づいた場合は、すみやかに入学グループまでご連絡ください。
- ・ 出願期間内に登録が完了しなかった場合は、いかなる理由でも出願は認めません。

①出願登録

各入試種別の出願期間になると、出願登録ができます。

「出願登録」から進み、出願する入試種別を選択してください。

②入試種別の選択

出願する入試種別を選択してください（選択するとオレンジ色になります）。

③志望先の選択

志望する研究科・領域を選択してください。

④事前提出課題などの入力

マイページ登録時に入力した「個人情報」が再度表示されますので、内容に誤りがないか確認してください。また、事前提出課題（志望理由書、研究計画書）の入力フォームも表示されますので、入力してください。

⑤出願完了画面

出願完了画面が表示されます。

1. 出願書類一覧

出願に必要な書類の一覧が表示されます。「印刷ページ」から「宛名ラベル」などを印刷する画面を表示することができます。

2. 入学検定料のお支払い

「検定料のお支払い」から、入学検定料の支払い画面へ進みます。

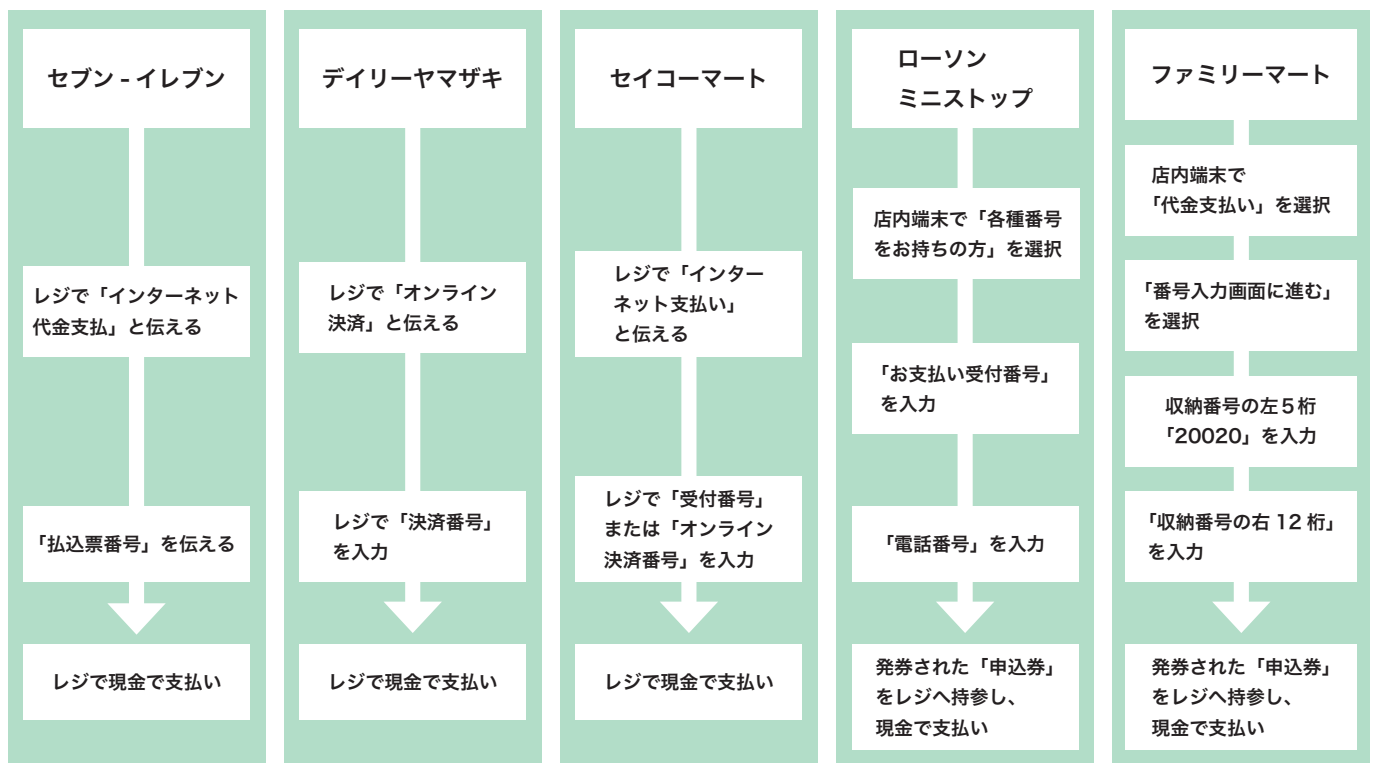
入学検定料の支払方法

マイページ「出願完了画面」にある「検定料のお支払い」から、「決済専用サイト」へ進みます。お支払い方法をクレジットカード、コンビニ、ネットバンキング、ATM（ペイジー）の中から選択して、**出願期間内に納入手続きを行ってください。**納入が完了すると、「納入完了の通知メール」が届きます。

- ・ **出願期間内に入学検定料を納入しなかった場合は、いかなる理由でも出願は認めません。**
- ・ 入学検定料の他にサービス利用料 990 円が必要です。
- ・ いったん納入された入学検定料の返還は、原則として行いません。

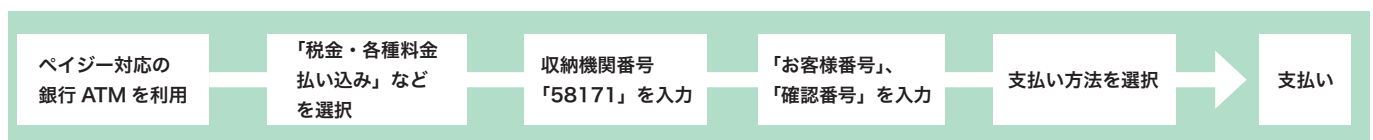
コンビニエンスストア

お支払い方法から「コンビニ」を選択し、「お支払い情報」を取得した上で、以下の手順に従って手続きを進めてください。



ATM（ペイジー）

お支払い方法から「ATM（ペイジー）」を選択し、「お支払い情報」を取得した上で、以下の手順に従って手続きを進めてください。



その他の納入方法

クレジットカード	お支払い方法から「クレジットカード」を選択し、画面の指示に従って手続きを進めてください。
ネットバンキング	お支払い方法から「ネットバンキング」を選択し、画面の指示に従って手続きを進めてください。
海外からの納入	海外からの納入方法は、クレジットカードのみに対応しています。

注意事項

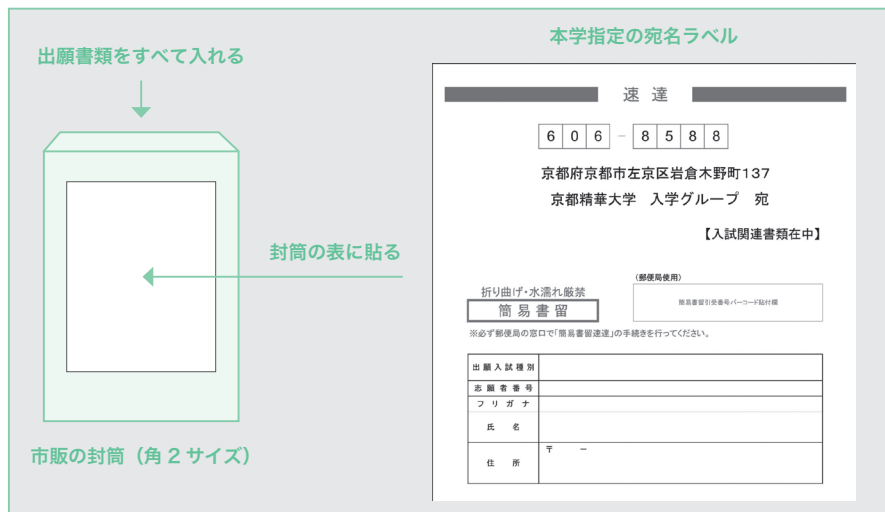
各納入手順は変更される場合があります。ご不明な場合は、株式会社ペイジェントの Web サイトをご確認ください。
 （購入者の支払いの流れ）URL：https://www.paygent.co.jp/payment_service/way_to_pay

出願書類の送付

出願にあたっては、必要な出願書類をすべて揃えて、市販の角2サイズの封筒を使用して、郵便局の窓口から簡易書留・速達で送付してください。封筒の表には、本学指定の「宛名ラベル」を貼り付けてください。「宛名ラベル」は、出願登録完了時に「マイページ」でダウンロードして、印刷することができます（志願者の氏名などが記載されたラベルが印刷できます）。

海外から送付する場合は、任意の封筒を使い、「**出願する入試種別、出願書類在中**」と表書きをして、国際宅配便（EMS、DHL、UPS、FedEx など）で送付してください。また、「宛名ラベル」は出願書類と一緒に送付してください。

国内から送付する場合



注意事項

- ・ 郵便局、配送会社が発行する受付番号、追跡番号などの控えは、郵便事故などによる不着の際に必要となりますので、必ず各自で保管してください。
- ・ **本学窓口での受付は、本学に在籍する者（学生・研究生）に限ります。受付日時は、本学の事務取扱日に準じます。**
- ・ 出願書類の到着状況に関するお問合せには応じられません。
- ・ 出願資格を確認するために必要な書類が提出されなかった場合、出願が認められない場合があります。
- ・ **出願期間内にすべての書類を提出しなかった場合は、いかなる理由でも出願は認めません。**
- ・ いったん提出された書類は原則として返却しません。

受験票の印刷

受験票印刷日の12:00以降になると、「マイページ」で受験票のPDFをダウンロードして印刷することができます。必ず試験当日までに、志望先、試験日、試験時間などの記載事項をご確認ください。記載内容に不備がある場合は、すみやかに入学グループまでご連絡ください。



座席番号と受験番号の違い

座席番号は、試験ごとにつけられる9桁の番号です。受験番号は、志望研究科・専攻ごとにつけられる8桁の番号です。本学試験会場では、座席番号に着席してください。

合否発表は受験番号で行います。

試験会場

交通アクセス

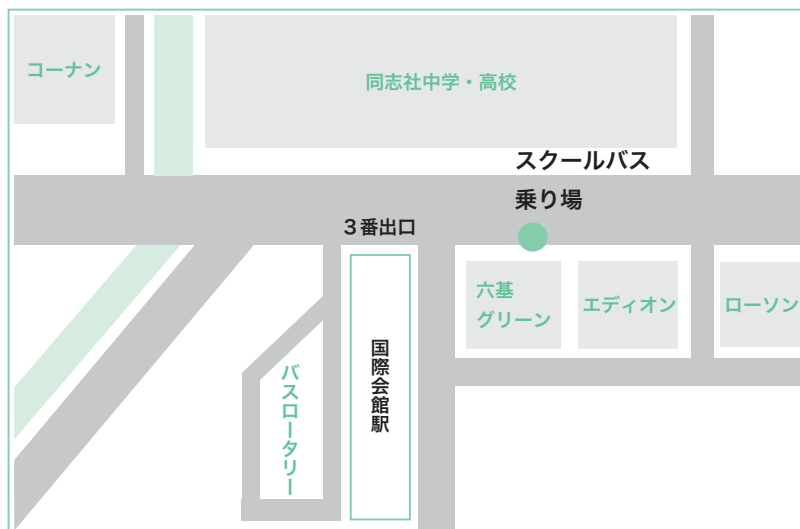
京都精華大学（京都市左京区岩倉木野町 137 番地）

- ・ JR「京都駅」より地下鉄烏丸線に乗り換え、「国際会館駅」下車、スクールバスで約 10 分
- ・ 阪急京都線「烏丸駅」より地下鉄烏丸線に乗り換え、「国際会館駅」下車、スクールバスで約 10 分
- ・ 京阪鴨東線「出町柳駅」より叡山電鉄に乗り換え、「京都精華大前駅」下車、徒歩すぐ

注意事項

キャンパス内は自家用車の乗り入れ、駐車はできません。また、キャンパス周辺での駐停車、乗り降りはお遠慮ください。電車、バスなどの公共交通機関をご利用ください。

スクールバス案内



試験当日は、地下鉄烏丸線「国際会館駅」～キャンパス間でスクールバスを運行しています。

スクールバス乗り場は「国際会館駅」3番出口を出て右になります。時刻表は本学 Web サイト（交通アクセスページ）で案内します。

[交通アクセスページ](#)



可否発表

可否結果は「マイページ」の「可否照会」でご確認ください。**可否発表日の 12：00 に発表します。**

なお、可否結果に関する問い合わせは一切応じられません。

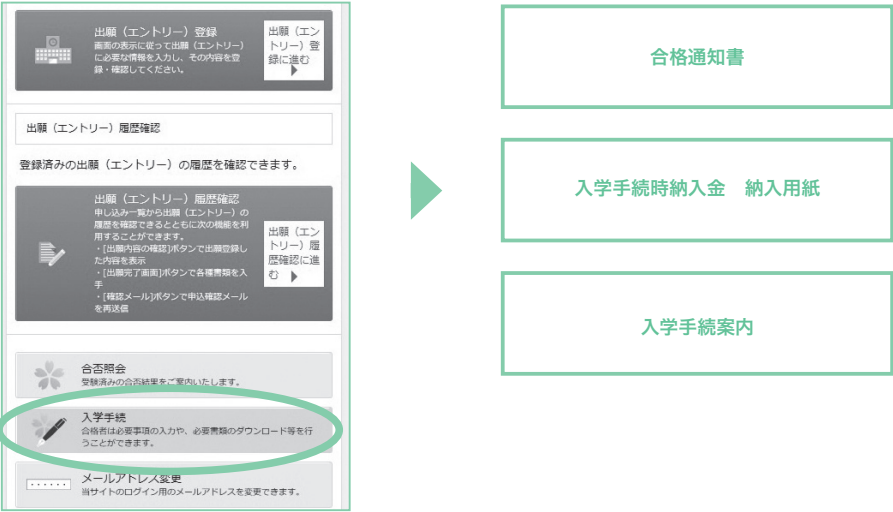
可否発表は受験番号で表示されます。

注意事項

- ・ 入試において指定された試験科目（事前提出課題を含む）をすべて受験（提出）する必要があります。1 つでも受験（提出）しなかった場合は、可否判定は不合格となります。
- ・ 合格発表の後、出願書類に虚偽の記載が発覚した場合、また、2024 年 4 月 1 日時点で出願資格を満たせなかった場合は、入学試験の合格を取り消します。

入学手続・学費

入試に合格すると、マイページの「入学手続」に進むことができます。「合格通知書」と「入学手続時納入金納入用紙」を印刷することができます。また、「入学手続案内」には手続方法を詳しく記載しています。



入学手続時納入金

入学手続は、入学手続時納入金（入学金・前期 1 期の授業料）を、所定の入学手続締切日までに納入することで完了します。入学手続締切日までに納入が完了しない場合は、入学を辞退したものとします。なお、入学手続締切日後の入学手続はいかなる理由があっても認めません。

課程・研究科		博士前期課程・修士課程				博士後期課程	
		実技系 芸術研究科 マンガ研究科 デザイン研究科		理論系 芸術研究科 マンガ研究科 デザイン研究科 人文学研究科		芸術研究科 マンガ研究科	
		本学卒業または 卒業見込みの方	その他の方	本学卒業または 卒業見込みの方	その他の方	本学修了または 修了見込みの方	その他の方
内 訳	入学金	免除	200,000 円	免除	200,000 円	免除	200,000 円
	授業料（前期 1 期分）	262,500 円	262,500 円	187,500 円	187,500 円	187,500 円	187,500 円
合計		262,500 円	462,500 円	187,500 円	387,500 円	187,500 円	387,500 円

※ 外国人留学生の方は上記に加え、入学手続時に「外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険加入費」7,340 円（2 年分）、または 10,510 円（3 年分）が必要です（本学に在籍する外国人留学生のための保険です。金額は 2023 年度の実績であり、2024 年度の加入費は変更する場合があります）。

入学手続締切日

博士前期課程・修士課程 1 期：2023 年 11 月 10 日（金）

博士前期課程・修士課程 2 期：2024 年 3 月 12 日（火）

博士後期課程：2023 年 12 月 15 日（金）

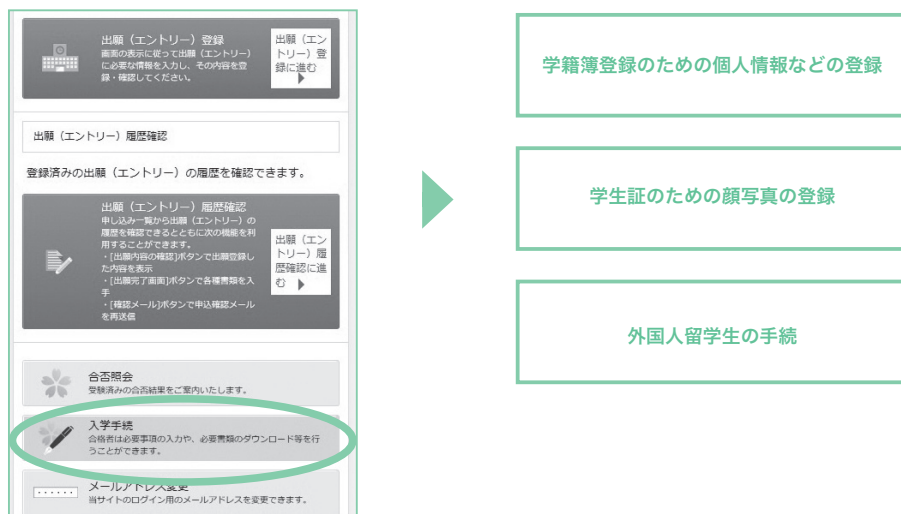
納入方法

入学手続時納入金は、下記のいずれかの方法で納入をお願いします。詳細は合格者に案内します。

金融機関窓口	「入学手続時納入金納入用紙」をマイページでダウンロードして印刷のうえ、銀行などの各金融機関窓口（ゆうちょ銀行を除く）に持参して納入してください。
金融機関 ATM、ネットバンキング	「入学手続時納入金納入用紙」に記載している口座へ振り込んでください。
国際学費決済サービス「Flywire」	日本円以外の通貨で決済できるインターネットサービスです。海外在住の方などはこのサービスを利用してください。

入学準備に必要な各種情報の登録

入学手続時納入金の納入が完了した後、「入学手続」で入学準備に必要な各種情報の登録してください。詳しくは「入学手続案内」に記載しています。



ビザ（査証）・在留資格（外国人留学生対象）

在留資格を有していない場合

本学では、所定の期日までに入学手続を完了した日本国外在住者のうち、「留学」の在留資格の取得を希望する方のために、本人に代わって出入国在留管理庁へ「在留資格認定証明書（COE）」の交付申請を行います。

申請に必要な書類や手続などは「入学手続案内」に記載していますので、必要書類を期日までに提出してください。在留資格認定証明書（COE）の交付には、出入国在留管理庁での審査に5～6週間を要します。代理申請を希望する場合は、できるだけ早めに入学手続を完了させてください。

在留資格を有している場合

日本国内の大学や日本語学校から本学に進学する方や、本学の入試に合格した時点で、すでに有効な「留学」の在留資格を有している場合は、在留期限に応じて「在留期間更新許可申請」を各自で行ってください。詳しくは「入学手続案内」でご確認ください。

「留学」の在留資格以外を有している場合

- ・日本で長期滞在可能な在留資格（「留学」以外）を有している場合は、「留学」の在留資格への変更義務はありませんが、外国人留学生対象の各種補助制度の利用ができない場合があります。
- ・「短期滞在」および「特定活動（出国準備）」の在留資格を有している場合、原則として一度日本を出国し、在留資格認定証明書（COE）を申請する必要があります。
- ・「留学」以外の在留資格から「留学」へ変更を希望する方は、「入学手続案内」に記載している担当窓口に相談してください。

学費

入学後の授業料は、年4期に設けられた納入期日までに、年間授業料の4分の1の金額を納入してください。

課程・研究科	博士前期課程・修士課程		博士後期課程
	実技系 芸術研究科 マンガ研究科 デザイン研究科	理論系 芸術研究科 マンガ研究科 デザイン研究科 人文学研究科	芸術研究科 マンガ研究科
授業料（納入期ごと）	262,500 円	187,500 円	187,500 円
年間授業料	1,050,000 円	750,000 円	750,000 円
初年度納入金（入学金含む）	1,250,000 円	950,000 円	950,000 円



本学在籍者を対象とした特別措置

本学に正規学生（研究生を除く）として在籍中の方は、申請によって入学手続時納入金の特別措置を受けることができます。これにより、入学手続締切日までに納入が必要な金額は、入学手続時納入金の 10% の額になります。残金は入学後の指定日までに納入してください。

※ 申請しなかった方は、特別措置を受けることができません。

申請方法

インターネット出願ページで「大学院入学手続時納入金特別措置申請書」を入手し、必要事項を記入のうえ、合格した入試の入学手続締切日（必着）までに、本学経理チームに提出してください。詳しくは「入学手続案内」をご確認ください。

国費外国人留学生を対象とした特別措置

国費外国人留学生の方は、申請によって入学手続時納入金の特別措置を受けることができます。これにより、入学手続締切日までに納入が必要な金額は、入学手続時納入金の 10% の額になります。残金は入学後の指定日までに納入してください。

申請方法

インターネット出願ページで「大学院入学手続時納入金特別措置申請書」を入手し、必要事項を記入のうえ、合格した入試の入学手続締切日（必着）までに、本学経理チームに提出してください。詳しくは「入学手続案内」をご確認ください。

入学手続時納入金の振替（博士前期課程・修士課程に限る）

博士前期課程・修士課程入試 1 期で入学手続を完了した方が、博士前期課程・修士課程入試 2 期に合格し、入学する研究科を変更する場合は、入学手続時納入金の振替申請をしてください。これにより、すでに納入した金額を新たな納入金に振替えることができます。

申請方法

インターネット出願ページで「入学手続時納入金振替申請書」を入手し、必要事項を記入のうえ、博士前期課程・修士課程入試 2 期の入学手続締切日（必着）までに、本学経理チームに提出してください。詳しくは「入学手続案内」をご確認ください。

入学辞退

入学手続を完了した方が、入学を辞退する場合は、以下の要領で入学辞退手続を行ってください。「入学金（200,000 円）」を除く「前期 1 期授業料」を返還します。

申請方法

「マイページ」にログインして「入学手続」から「入学辞退手続」へ進み、必要事項（返還する銀行口座、辞退理由など）をすべて入力してください。

※ 申請期限までに手続を完了しなかった場合や、申請内容に不備がある場合は返還できません。なお、いったん申請した入学辞退を取り消すことはできません。

申請期限

2024 年 3 月 31 日（日）

納入金の返還日程

2024 年 3 月 15 日（金）までに申請した場合：3 月 29 日（金）までに返還

2024 年 3 月 16 日（土）から 3 月 31 日（日）までに申請した場合：4 月 26 日（金）までに返還

国内学生を対象とした本学独自の奨学金

奨学金の名称		金額	対象者	採用人数	選考方法
海外プログラム 学修奨励奨学金		年間授業料の 1/2 の額 (派遣期間の授業料を減免)	- 海外協定校への交換留学および長期海外プログラムを履修する者 - 前年度 GPA が 3.0 以上の者 - TOEFL-ITP の得点が 550 点以上の者 - 標準的な単位数を前年度までに修得している者 - 対象となる当該年度に休学していない者 - 過去に本奨学金を受給していない者	20 名 (国内学生と外国人留学生の合計数)	提出書類（計画書）および面接により選考
国内学生大学院 学費減免	博士前期課程・ 修士課程	年間授業料の 1/2 の額 (当該年度の授業料を減免)	博士前期課程・修士課程に在籍する国内学生のうち以下の要件を満たす者 【家計】 学費支弁者の収入が本学が定める経済基準（給与収入の方で年収約 300 万円程度以下）を満たす者 【成績】 1 年生：成績要件不要 2 年生：以下の要件を満たす者 - 標準的な単位数を前年度までに修得している者 - 前年度 GPA が 3.0 以上の者 - 対象となる当該年度に休学していない者	4 名	提出書類と成績により選考
	博士後期課程	年間授業料の 3/4 の額 (当該年度の授業料を減免)	博士後期課程に在籍する国内学生のうち以下の要件を満たす者 【家計】 学費支弁者の収入が本学が定める経済基準（給与収入の方で年収約 300 万円程度以下）を満たす者 【成績】 1 年生：成績要件不要 2、3 年生：以下の要件を満たす者 - 標準的な単位数を前年度までに修得している者 - 前年度 GPA が 3.0 以上の者 - 前年度に研究科において研究計画の進捗状況が良好であると認められた者 - 対象となる当該年度に休学していない者	3 名	提出書類と成績により選考

奨学金に関する詳しい情報

本学独自の奨学金の詳しい情報は、本学 Web サイトをご確認ください。

京都精華大学独自の奨学金（国内学生対象）ページ



外国人留学生を対象とした本学独自の奨学金

奨学金の名称		金額	対象者	採用人数	選考方法
海外プログラム 学修奨励奨学金		年間授業料の 1/2 の額 (派遣期間の授業料を減免)	- 海外協定校への交換留学および長期海外プログラムを履修する者 - 前年度 GPA が 3.0 以上の者 - TOEFL-ITP の得点が 550 点以上の者 - 標準的な単位数を前年度までに修得している者 - 対象となる当該年度に休学していない者 - 過去に本奨学金を受給していない者	20 名 (国内学生と外国人留学生の合計数)	提出書類（計画書）および面接により選考
私費外国人留学生 大学院学費減免	博士前期課程・ 修士課程	年間授業料の 1/2 の額 (当該年度の授業料を減免)	博士前期課程・修士課程に在籍する私費外国人留学生のうち以下の要件を満たす者 【家計】 - 仕送り（授業料を除く）が平均月額 70,000 円以下である者 - 家賃（共益費含む）が月額 25,000 円以下である者 - 在日している扶養者がいる場合、その年収が 500 万円以下である者 【成績】 1 年生：成績要件なし 2 年生：下記の要件を満たす者 - 標準的な単位数を前年度までに修得している者 - 前年度 GPA が 3.0 以上の者 - 対象となる当該年度に休学していない者	学年ごとに 5 名	提出書類と成績により選考
	博士後期課程	年間授業料の 3/4 の額 (当該年度の授業料を減免)	博士後期課程に在籍する私費外国人留学生のうち以下の要件を満たす者 【家計】 - 仕送り（授業料を除く）が平均月額 70,000 円以下である者 - 家賃（共益費含む）が月額 25,000 円以下である者 - 在日している扶養者がいる場合、その年収が 500 万円以下である者 【成績】 1 年生：成績要件なし 2、3 年生：下記の要件を満たす者 - 標準的な単位数を前年度までに修得している者 - 前年度 GPA が 3.0 以上の者 - 前年度に研究科において研究計画の進捗状況が良好であると認められた者 - 対象となる当該年度に休学していない者	学年ごとに 1 名	提出書類と成績により選考

奨学金の併給

本学独自の奨学金と、他の奨学金（日本学生支援機構（JASSO）「文部科学省外国人留学生学習奨励費」など）を併給できるかどうかは、本学 Web サイトをご確認ください。

奨学金に関する詳しい情報

本学独自の奨学金の詳しい情報は、本学 Web サイトをご確認ください。

京都精華大学独自の奨学金（外国人留学生対象）ページ



国費外国人留学生の受入れ

国費外国人留学生とは、日本政府（文部科学省）から奨学金を受給して、日本に留学している外国人留学生のことを指します。本学大学院では、奨学金支給期間延長により進学を希望する国費外国人留学生を受入れています。

奨学金支給期間延長により受入れ可能な国費外国人留学生は下記のとおりです。

博士前期課程・修士課程	博士後期課程
1. 大使館推薦による研究留学生 (2024 年 3 月に在籍期間が満了する非正規生) 2. 大使館推薦による学部留学生 (2024 年 3 月に学士課程を卒業見込みの者)	大使館推薦による研究留学生 (2024 年 3 月に博士前期課程・修士課程を修了見込みの正規生)

※ 本学では、「大使館推薦による国費外国人留学生（研究留学生）」の募集に応募し、第 1 次選考合格を得た海外在住者による受入内諾依頼ならびに採用決定後の受入れに対応しています。ただし、「大学院研究生（非正規生）」としての受入れとなりますので、大学院正規課程の入学者を募集するこの入試要項では、これに関する情報を取り扱いません。

国費外国人留学生の出願・受験に当たっての特記事項

- 日本語能力に関する出願資格が免除されます。
- 出願書類は、日本語または英語で作成してください。
- 筆記・面接試験においては、日本語または英語で解答・回答してください。なお、面接試験においてどの程度の日本語能力があるかを確認します。

授業・研究指導における使用言語

博士前期課程・修士課程および博士後期課程における専門研究では、所属する研究科領域の指導教員による英語での指導を受けられますが（※）、博士前期課程・修士課程に配置された専門研究以外の共通基盤科目などの授業では、日本語による講義がおこなわれます。

出願時に日本語能力を問われないとはいえ、入学後の言語的な制約とご自身の日本語能力を踏まえた上で、慎重に進学を検討してください。

※ 他大学からの進学希望者で英語による指導を希望する者は、英語での指導が可能な指導教員との事前面談が必要です。「指導教員一覧」で英語指導が可能な教員を確認し、指定期日までに事前面談の申請を済ませてください。

奨学金支給期間の延長に関する注意事項

奨学金支給期間の延長申請手続は現在籍大学がおこないますので、本件にかかる詳細は、現在籍大学の国費外国人留学生の奨学金担当部署にお問い合わせください。

個別の入学資格審査

個別の入学資格審査は、学歴に関する出願資格を満たさない方に対し、それと同等以上の資格があるかどうかについて申請書類をもとに審査し、出願資格の有無を判定するものです。

博士前期課程・修士課程に出願を志望する方

対象者

学士の学位を有しない者で、それと同等以上の資格を有することを証明できる 22 歳以上の者

申請方法

本学 Web サイト（入試情報ページ／出願資格／個別の入学資格審査について）から「個別の入学資格審査申請書（大学院）」を入手して必要事項を記入し、下記の書類を添えて、申請期限内に入学グループに簡易書留郵便で送付してください。

1. 出身教育施設の卒業証明書または卒業見込み証明書（原本）
2. 出身教育施設の成績証明書または調査書（原本）
3. 出身教育施設の教育内容などが確認できる書類（教育課程、カリキュラム、授業時間数、授業科目、修業年限、必要単位数が明記されたもの）
4. 社会での実務経験などの期間および内容を証明できる書類（社会での実務経験を有する者のみ提出）
5. 生年月日を確認できる書類の写し（上記書類 1 ～ 4 に生年月日の記載がある場合は提出不要）

申請期間

博士前期課程・修士課程入試 1 期：2023 年 7 月 21 日（金）必着

博士前期課程・修士課程入試 2 期：2023 年 11 月 20 日（月）必着

審査結果の通知

申請者宛に書面で通知します。審査が認められた場合、学歴に関する出願資格を個別に認めます。

博士後期課程に出願を希望する方

対象者

修士の学位を有しない者で、それと同等以上の資格を有することを証明できる 24 歳以上の者

申請方法

本学 Web サイト（入試情報ページ／出願資格／個別の入学資格審査について）から「個別の入学資格審査申請書（大学院）」を入手して必要事項を記入し、下記の書類を添えて、申請期限内に入学グループに簡易書留郵便で送付してください。

1. 出身教育施設の卒業証明書または卒業見込み証明書（原本）
2. 出身教育施設の成績証明書または調査書（原本）
3. 出身教育施設の教育内容などが確認できる書類（教育課程、カリキュラム、授業時間数、授業科目、修業年限、必要単位数が明記されたもの）
4. 社会での実務経験などの期間および内容を証明できる書類（社会での実務経験を有する者のみ提出）
5. 生年月日を確認できる書類の写し（上記書類 1 ～ 4 に生年月日の記載がある場合は提出不要）

申請期間

2023 年 10 月 2 日（月）必着

審査結果の通知

申請者宛に書面で通知します。審査が認められた場合、学歴に関する出願資格を個別に認めます。

お問い合わせ

お問い合わせ先

入試に関するご質問は、入学グループ宛にメールまたは電話にてお問い合わせください。

受付日時：月曜日～金曜日 9：00～18：00（8/21～9/20 は 9：00～16：30）

※土曜、日曜、祝日、8/10～8/20、12/29～1/4 は事務局休業日につき、メール・電話への対応を行っていません。

入学グループ

メール：nyushi@kyoto-seika.ac.jp

電話：075-702-5100

入試＆高校生・受験生向け情報ページ

よくある質問、過去の入試結果、過去問題、実技型試験の合格参考作品などの情報を本学 Web サイト（入試＆高校生・受験生向け情報ページ）で公開しています。また、オンライン方式入試の練習用サイトも公開しています。なお、入試に関する追加のお知らせが発生した場合は、「入試情報ページ」や「マイページ」でお知らせします。



入試＆高校生・受験生向け情報ページ



入試結果ページ

操作に関するお問い合わせ

「インターネット出願ページ」の「よくある質問・お問い合わせ」では、操作に関するお問い合わせへの回答を掲載していますのでご利用ください。

URL：https://www.guide.52school.com/guidance/net-kyoto-seika/faq

志願受付操作サポート窓口

TEL：0120-752-257

受付期間：2023/ 8/1～2024/3/31

受付時間：毎日 9：00～20：00

※上記期間のうち、入試種別ごとの出願期間のみご利用いただけます。また、年末年始（12/29～1/3）は休業させていただきます。

個人情報の取扱い

本学では、個人情報保護の重要性を認識し、個人情報保護に関する法令を遵守すると共に、適法かつ適正に個人情報を取り扱います。志願者である皆さんの個人情報については、出願処理、試験実施、合格発表、入学手続処理および学籍発生までの入学手続作業、学内における統計的資料作成に使用し、入学手続完了者については、入学後の在籍情報としても使用します。前述の各業務について、本学および当該業務を委託した業者において業務を行うことがありますが、本学が明示する用途のみに使用し、委託業務を超えた利用はありません。

